

統計研究参考資料

No.51

インストローとジェンダー統計

INSTRAW and Gender Statistics

1997年6月

法政大学日本統計研究所

The Japan Statistics Research Institute
Hosei University

まえがき

日本統計研究所は、女性と男性に関する統計（ジェンダー統計）の活動と理論について早くから注目し、プロジェクトを組み、また特に国連を中心とする国際的な動向を紹介してきた。

この統計研究参考資料においても以下のものがある。

田中尚美訳・国連事務局『性的ステレオタイプ、性的偏りおよび国家統計システム』No.34(1991.6)

伊藤陽一・杉橋やよい訳、「女性と統計」関連主要文献目次・序文等翻訳集」No.39(1993.7)

中野恭子著訳・伊藤陽一協力「インストローと女性に関する統計」No.40(1993.9)

伊藤陽一・杉橋やよい訳、「ジェンダー統計の現状」、No.42(1994.1)

田中尚美訳・国連『女性の状況に関する統計と指標のための概念と方法』No.45(1995.3)

杉橋やよい訳・国連「世界規模のジェンダー統計に関するワークショップ－現在行なわれている作業と次のステップ」No.49(1996.4)

この他に 1992-93 年の本研究所のプロジェクトの成果として、この分野における日本ではじめての研究書として、伊藤陽一編著(1994)『女性と統計－ジェンダー統計論序説』梓出版社も出版した。

このジェンダー統計活動は、国際的には 1975 年の世界女性会議（メキシコ）あたりを起点とし、1995 年の北京世界女性会議を大きな契機として、さらに一段と規模と内容を拡大し、20 世紀の最後に、国際的な統計の歴史でもかつてなかった大きな動きとして展開しつつある。特に北京会議に向けては、世界各国・地域でのジェンダー統計集の編集・発行があり、この間の国連諸機関でのジェンダー問題・ジェンダー統計への取り組みの拡大、非報酬労働の測定・評価、移民、暴力、意思決定等々の問題へのジェンダー視点に立った統計の側からの取り組みの本格化など、運動の広がりを見ることができる。

統計理論に関しても、アカデミーでのジェンダー統計のとりあげが広がり

じめ、国際統計学会でも 1993 年、1997 年とセッションが設定されている。また、国際ジェンダー統計活動のリーダーであるスウェーデンの B. ヘッドマン、イタリアのペルーチ等による著書 *Engendering Statistics- A Tool for Change* が 1996 年末に発刊されて、この書物は統計学・統計教育の分野に大きな影響を与えていくと思われる（日本訳については、日本統計研究所で取り組み中である）。

これら国際的なジェンダー統計運動を推進してきた 2 つの代表的機関が国連統計部とインストローである。しかし、インストローに関しては、日本では、現在でもなお、広くは知られていないように見える。

冒頭に示したように日本統計研究所では、本統計研究参考資料 No.40 でこのインストローを紹介している。このインストローの重要性に関心を持ち、本資料の作成者の伊藤が 1997 年 3 月 13-14 日に、インストローの本部（ドミニカ共和国・サントドミンゴ）を訪れて、図書室で担当者とは質疑を交わし、文献調査にあたった。また、3 月 18 日にニューヨークの連絡事務所で、折からの国連女性の地位委員会のために滞在していた所長に、忙しい時間をぬって対応していただき、30 分間質疑を交わした。

そこで、本資料では、ここで獲得した資料や情報を中心にして、資料 No.40 号以後のインストローの動向、インストロー・ニュースのジェンダー統計に関する記事の翻訳紹介し国際的ネットワーク間の情報交換がますます重要性をますますなか、インストローのフォーカルポイントを紹介し、前回の号で紹介した出版目録を補強して提示しようとするものである。

本冊子の企画・執筆は、伊藤陽一が担当し、翻訳は伊藤と水野谷武志が担当し、編集作業は、伊藤と水野谷があたった。

1997 年 6 月

伊藤 陽一

目次

まえがき

I	インストローの最近	伊藤陽一	5
1	ホームページの開設など		5
2	機構改編問題と関連決議		13
3	ジェンダー統計に関する最近の活動		18
II	ジェンダー統計に関する主要論文・記事		21
	(インストロー・ニュースから)		
	【翻訳担当 1, 4, 5, 6 : 伊藤陽一、2, 3 : 水野谷武志】		
1	無報酬労働の測定と価値評価		21
	(インストロー・ニュース No.20 1994)		
2	女性の時間：新しい価値を設定する		26
	(インストロー・ニュース No.21 1994)		
3	統計上のジェンダーの欠如に橋渡しをする		28
	(インストロー・ニュース No.21 1994)		
4	プロジェクトの最近一統計		43
	(インストロー・ニュース No.23 1995)		
5	女性の移民－影響を測定する		45
	(インストロー・ニュース No.23 1995)		
6	ジェンダー統計－女性は生産にどれだけ貢献しているか		52
	(インストロー・ニュース No.24・25 1996)		
III	フォーカルポイント一覧		61
IV	インストローの刊行物リスト		67

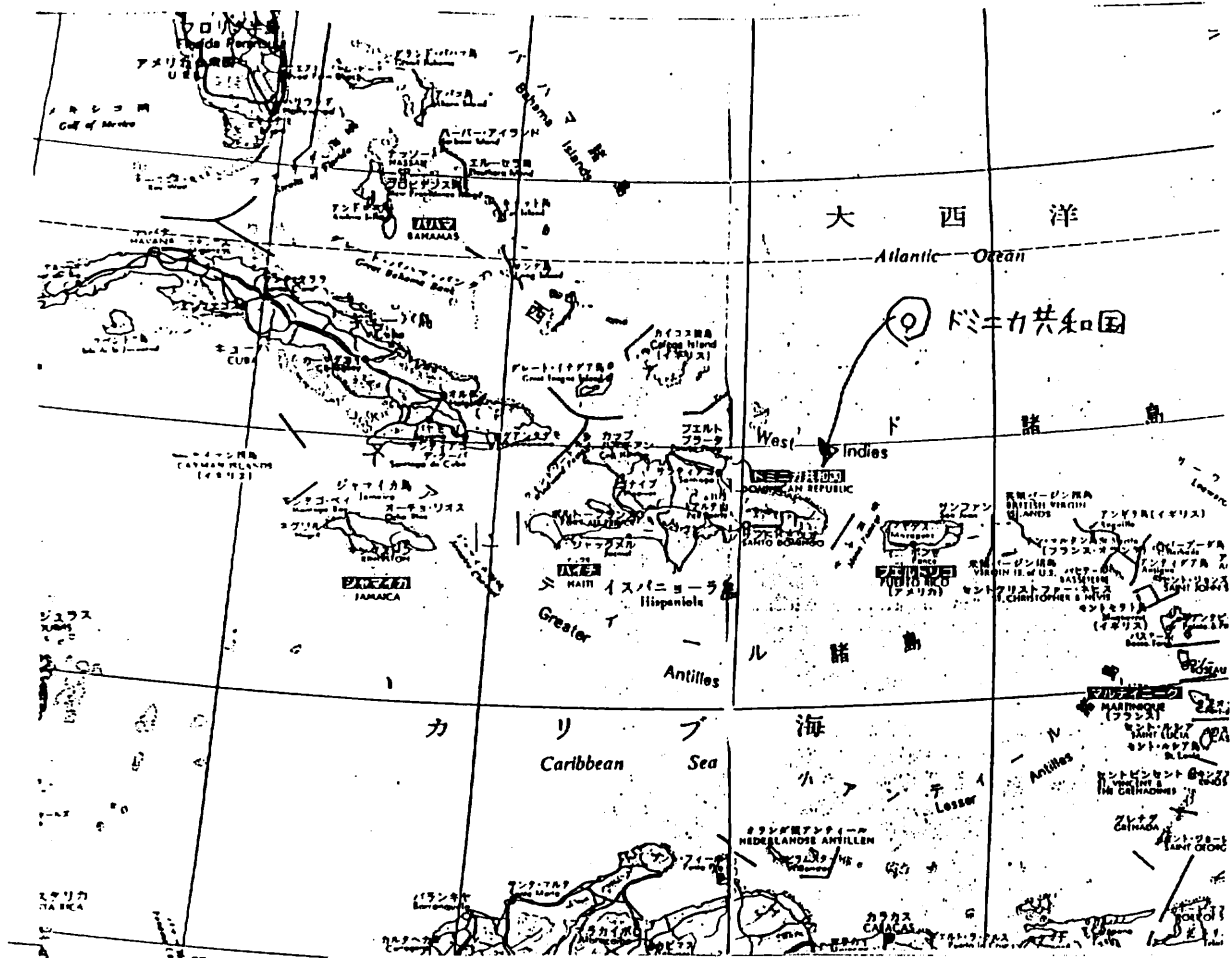
I インストローの最近の動向に関して

インストロー (INSTRAW:United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women:国連女性の地位向上のための国際調査訓練研修所) の概略はすでに前回資料 (統計研究参考資料 No.40 : 中野恭子著訳・伊藤陽一協力「インストローと女性に関する統計」1993年9月) に示した。インストローは、1997年のはじめにごく簡単なホームページを開設した。そこに示されていることが、実はインストローの内容の簡単な説明になっている。1. では、その紹介を兼ねて、ホームページを原文のままであるが転載することにする。その他、インストローに関する補足的情報を加えろ。2. では、組織改編問題にふれ、3. では、インストローの最近のジェンダー統計活動を紹介する。

1. ホームページの開設など

(1) まず、インストロー(INSTRAW) という略称について。この略称は、この機関の英語あるいはスペイン語のフルの名称の頭文字を順に並べても、INSTRAW にはならないことが早くからの疑問であった。本部で質問してみてもラチがあかなかった。ニューヨークでは、所長も質問に対して説明をはじめたが、途中で「あれ」という感じで行きどまった。紙にメモをしながらの解釈・推定は、T: Training, R:Research, INS:Institute, A:Advancement, W:Women について、発音しやすいように並べ交えたのではないか、ということであった。しかし、International の頭は組み込まれていない。専ら、語呂なのかどうか。この点は、この略称指定時の当事者に聞かなければわからないかもしれない。そういう目で見れば、ユニフェム他、頭文字をもつての省略形でないものがあるようだ。

(2) 本部の所在地。ドミニカ共和国 (カリブ海地域、キューバの東南隣、プエルトリコの西隣、山脈を境にしてハイチと同じ島 : イスパノール島に属す) にある。原住民タイノ族がスペイン支配の下消滅したとされる。ヨーロッパからの直接便とともに、合衆国からはニューヨークから1日直通便が (4時間半)



サントドミンゴ中心部



いくつかでている点で便利である。インストローは、このドミニカ共和国の首都サントドミンゴにある。サントドミンゴはカリブ海地域ではキューバのハバナと並ぶ大都市とされ、人口は200万人とされる。所在は、Maximo Gomez Ave と Cezar Nicholas Penson 通り (Av. Bolivar の一本北) のクロス地点から西へ60メートル位入ったところに門がある。道を挟んでアメリカ領事館がある。インストローの本部のつくりは、インストロー・ニュースに掲載された写真で予想していたよりは小さい感じがした。折から所長がニューヨークにでかけて留守であり、同伴ででかけた者もいて、職員も留守がちであった。40名前後の職員数であるという。サントドミンゴのベースの中で仕事が行なわれていた。

図書室の広くはない書架には、およそ半分が国連総会等のドキュメント、半分がインストロー関係のドキュメントや各国のジェンダー統計集などが並んでいた。前者の国連関係の一般資料については、この地域の研究者や大学生が利用しに来ることが多いという。ジェンダー関係の資料としては、諸国政府機関の作成になるジェンダー統計集がかなり並んでいた。特に、中南米地域の統計集で、筆者が未見のものが一定程度揃っていた。

ニューヨークの連絡事務所は、国連の建物から道を挟んで向かいの国連プラザビルの中にある。

(3) この間、所長が交替した。現在は Martha Duenas-Loza が acting director になっている。創設後の第3代所長にあたる。



ニューヨーク
連絡事務所
筆者撮影

(4) 本部、連絡事務所とも、電話、ファックスのほか、e-mail address を持っていて、質問に対応してくれるので、以前よりコミュニケーションは容易になった。筆者は、e-mail への反応は、ニューヨークの方が速いという感触をもっている。本部を訪問したときに、1996年11月にホームページが開設されたということで、それを告知するピラを配布中であつた。いまのところ、なお簡単にすぎるが、これが充実すると情報の往来はさらにスムーズになるだろう。

その内容は、この資料ではすべてとりあげなかつたインストロー自体の簡単な紹介になっているので、これを以下に転載する。ちなみに、この画面は1997年6月初旬のものである。以下の紹介では、別の画面に現れる各項目を詰めて示した。また最近の出版物は、本資料のIVに収録したので、示さなかつた。

ちなみに、1997年3月8日に国連の女性関係機関の手になるインターネット・サイト"WOMENWATCH" (<http://www.un.org/womenwatch>)が開設されている。



Welcome to the homepage of the
United Nations
International Research and Training Institute
for the Advancement of Women
(INSTRAW)



- WHAT IS INSTRAW?
- HOW DOES INSTRAW WORK?
- WHAT IS THE FOCUS OF INSTRAW'S RESEARCH AND TRAINING PROGRAMMES?
- WHAT DOES INSTRAW PUBLISH?
- WHERE DO INSTRAW'S FINANCIAL RESOURCES COME FROM?
- WHERE IS INSTRAW?

United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women (INSTRAW)

Headquarters:

Calle César Nicolás Penson 102-A

Santo Domingo, Dominican Republic

Tel: (809) 685-2111 Fax: (809) 685-2117

E-mail: instraw.hq.sd@codetel.net.do

WHAT IS INSTRAW?

The United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women (INSTRAW) is the only United Nations institute with the mandate for research and training on the advancement of women.

The creation of INSTRAW as an autonomous institute within the framework of the United Nations, was recommended by the World Conference of the International Women's Year, held in Mexico City, Mexico, in 1975 and established by the Economic and Social Council (ECOSOC) resolution 1998 (LX) of 12 May 1976.

INSTRAW's objectives are:

To stimulate and assist, through research, training and the collection and dissemination of information, the advancement of women and making women's contribution to development more visible.

To assist the efforts of inter-governmental, governmental and non-governmental organizations in this regard.

Back [Home](#).

<http://www.un.org/instraw/work.htm>

HOW DOES INSTRAW WORK?

INSTRAW has a governing body, the INSTRAW Board of Trustees, composed of eleven members nominated by States and appointed by the Economic and Social Council (ECOSOC) with due regard to the fact that the Institute and its work are funded from voluntary contributions and to the principle of equitable geographical distribution. The members of the Board serve in their individual capacities for a term of three years from the date of their appointment. A representative of the Secretary-General, the Director of the Institute, a representative of each of the regional commissions of the ECOSOC, and a representative of the Host Country, serve as *ex-officio* members of the Board.

INSTRAW relies on international networking with its focal points (now numbering 41 world-wide) and other national, regional and international organizations.

For more information about INSTRAW Focal points, please contact INSTRAW Headquarters.

Back [Home](#).

WHAT IS THE FOCUS OF INSTRAW'S RESEARCH AND TRAINING PROGRAMMES?

INSTRAW's work is guided by:

- Statute of the United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women approved by the United Nations General Assembly in decision 39/249 of 9 April 1985;
- Decisions and recommendations by the INSTRAW Board of Trustees, the ECOSOC and the General Assembly;
- The Nairobi Forward-Looking Strategies for the Advancement of Women of the World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women: Equality, Development and Peace (Nairobi, 1985);
- The Platform for Action of the Fourth World Conference on Women (Beijing, 1995);
- The recommendations from other recently held international conferences including: UN Conference on Environment and Development (1992), the World Conference on Human Rights (1993), the International Conference on Population and Development (1994), the World Summit for Social Development (1995), the second United Nations Conference on Human Settlements HABITAT II (1996) and the World Food Summit (1996).

For the 1996-1997 biennium, INSTRAW has developed four research and training programmes based on priorities identified in the following areas:

Process of Economic and Political Empowerment of Women

In accordance with the recommendation of the Beijing Platform for Action "to ensure women's equal access to and full participation in power structures and decision-making and to increase women's capacity to participate in decision-making and leadership", (chapter IV, Strategic Objective G.1.2), INSTRAW is preparing resource materials for women in politics with the objective of enhancing their capacity to participate in decision making leadership, by incorporating a gender perspective. The project entails a research component for the preparation of a background paper which will present an overview of the global situation of women in the political arena and the barriers limiting their participation; and several case studies including a gender analysis of the political power structures.

Women, Environment and Sustainable Development

Building upon the Institute's research on the interdependent relationship between women, environment and sustainable development, in 1995 and in cooperation with the ILO/Turin Training Centre, INSTRAW prepared the training package "Women, Environmental Management and Sustainable Development" aimed at assisting countries to develop a holistic approach in the organization and management of environmental policies and programmes through the integration of women's needs and participation. Based on this package, a sub-regional training seminar for Central and Eastern Europe was recently conducted by the Institute in collaboration with the ILO Training Centre in Turin, Italy (23-27 September 1996). INSTRAW has prepared other training packages on the subjects of: women, water supply, sanitation and waste management; and women and new and renewable sources of energy.

Women, Media and Communication

A current project entitled "Empowering Women Through the Use of Computer Mediated Communication (CMC) Technologies is aimed at promoting the use of computer mediated communication in women's organizations and institutes. The first phase consists of a survey in Latin America and the Caribbean to identify the potentials and constraints of computer mediated communication research, training, education, information, advocacy and development work in women's organizations and institutes in the region. On the basis of the research finds, INSTRAW will design and produce "user-friendly" manuals -in print and electronic forms- to make the maximum use of these technologies for the work related to the advancement of women. To test the manuals prior to their finalization, INSTRAW will hold two national workshops in the Latin American and Caribbean region.

Statistics and Indicators on Gender Issues

As a means of implementing the follow-up process of the Fourth World Conference on Women and the recommendations of the Beijing Platform for Action, INSTRAW is continuing its research and training programme on statistics and indicators on gender issues, with specific and more profound focus on the following topics: 1) Measurement and Valuation of Unpaid Work - aimed at improving data collection on the activities and work of women and men; improving measurements of women's employment in the labour market; developing methods for assessing, in quantitative terms, the issue of unpaid work and have it reflected in economic indicators through "satellite accounts"; analysis of time-use statistics and classification of activities; and 2) Improving the use of gender specific statistics and indicators in policy design, programme planning, implementation, monitoring and evaluation.

Back [Home](#).

WHAT DOES INSTRAW PUBLISH?

- Its research studies, the reports of all its workshops, round tables and training seminars, and training materials as well as general public information materials.
- *INSTRAW News* which contains full-length articles on issues dealt with in its research and training programmes and up-dated information on the Institute's activities. This periodical is published twice yearly in English, French and Spanish and is available by subscription.

For more information contact [Headquarters](#).

Back [Home](#).

WHERE DO INSTRAW'S FINANCIAL RESOURCES COME FROM?

INSTRAW's activities are funded entirely by voluntary contributions from member states, intergovernmental and non-governmental organizations, foundations and private sources deposited in the Institute's Trust Fund.

Back [Home](#).

Contributions to the Institute may be accepted provided that they are consistent with the purposes and policies of the Institute. Voluntary contributions that are unrestricted or that are designated for the implementation of an activity approved by the Board may be accepted by the Director after obtaining the concurrence of the Controller of the United Nations. Other voluntary contributions may be accepted only with the approval of the Board, which shall take into account the comments of the Secretary-General. Contributions which may directly or indirectly involve an immediate or ultimate financial liability for the United Nations may be accepted only with the approval of the General Assembly.

For more information on contributing to the Trust Fund for the International Research and Training Institute for the Advancement of Women, please contact INSTRAW [Headquarters](#).

Back [Home](#).

WHERE IS INSTRAW?

INSTRAW is one of the few UN entities to have its headquarters based in a developing country. Its [Headquarters](#), have been based in Santo Domingo since 1983, at the invitation of the Government of the Dominican Republic. To maintain close contact with other agencies and bodies of the United Nations system, INSTRAW has a [Liaison Office](#) located at the United Nations Secretariat in New York.

Back [Home](#).

2 機構再編—ユニフェムとの合併—問題

特に 1990 年代に入って、環境、社会開発、人口、女性の地位向上、等々国連のイニシャティブでの重要な国際会議が開催され、影響を与えている一方で、国連は主要国が寄金の拠出を渋っていることに寄る財政難の中で、機構の縮小再編を余儀なくされている。余談になるが、筆者は 1996 年春に ESCAP の統計部門を訪問したことがある。責任者は、予算削減の中でどう縮小するか、その下で機関をどう運営するのかについて、絶えず会合があつて忙しいともらしていた。図書・資料の整理・管理が追い付いておらず、コピー器械も性能は十分といえずすぐに故障する状況であることも経験した。

関連して女性の地位向上の動きに関わる新組織も多くなり、既存機関もまた女性の地位向上、ジェンダー問題をとりあげるようになってきた。

こういった背景の下でのことと考えられるが、1993 年 12 月 20 日に国連総会は、事務総長に対して、管理予算問題の諮問委員会を通じて経済社会理事会に向けて、インストローとユニフェムの合併問題についての報告を提示し、経済社会理事会が 49 総会に最終勧告を提出するべきことを決議した（12 月 23 日：決議 49/160）。1994 年の総会では、その報告書の再考を求め、1995 年の世界女性会議ののちのことに先送りされる。すなわち、女性の地位向上に関する国連システム内の機構調整に関して、経済社会理事会、女性の地位向上委員会の 32 回会議での審議、第 4 回世界女性会議での審議を考慮して、第 50 総会に最終判断をすることにした。

北京会議は、インストローの独自の任務を再確認する（行動綱領第 334,335 節）。これを受けて、総会は 1995 年 12 月 22 日の決議(50/162)【後掲】では、北京会議での指摘等を引用しながら、合併を判断する上での十分な情報が無いことを残念だとしながら、機構制度を扱う提案は、国連機構全体の再構築の一環としてとりあげられるべきことを勧告し、同日の決議(50/163)では、インストロー自体をとりあげて、これまでの任務を再確認し、活動報告に満足を表明し、女性の地位向上に向けての働きに期待を寄せ、事務総長にインストローの活動に関する報告を求める。

1996年に、女性の地位委員会は3月の決議【後掲】において、行動綱領を折り込みながら、インストローの独自の機能—女性の地位向上と開発過程への女性の統合に向けての調査研究と訓練に専ら従事する国連システム内の全く唯一の機関であることを強調し、行動綱領の実施における特別の役割を強調し、その努力をたたえている。これを受けて、経済社会理事会は、6月26日の決議(Doc A/51/3,Part II,p.49)、で、インストローの活動、努力をたたえ、資源の重要性を再確認し、諸方面に対して献金を呼びかけている。

これらの経過の中、特に北京会議がインストローとユニフェムの役割をそれぞれ別個に確認した、女性の地位委員会がインストローに好意的な決議をしていることからみて、合併は無いものとしてひとまずのおさまがついたと見て良いと思う。

現所長も、筆者の質問に対して、その問題にはケリがついたと語っていた。とはいえ、他方で、本部の事務担当者とのインストロー・ニュースの将来的講読についての話の中では、先行きが不明な点があるので、単年度の予約講読にしておく方が良いと先方から言われた。

国連諸組織の縮小・再編が絶えず求められている中でどうなのであろうか。女性の地位向上問題・ジェンダー問題は広範な運動の盛り上がりの中で、21世紀にかけての国際的最重要問題でありつづける。この重要性の認識とインストローの働きについての評価の中で、この機構再編は判定されることになるろう。

合併問題に関する関連決議の抜粋が、インストローニュースの24/25号に掲載されているので、そのうちの主要なものを以下に訳出しておく。

社会経済理事会で1996年12月26日に採択された決議

1996/39(Doc A/51/3,Part II, p.49)

女性の地位向上のための国際調査訓練研究所

経済社会理事会は、

女性の地位向上のための国際調査訓練研究所理事会の第15回会議の報告に注意を向けた1995年6月27日の決議1995/45を想起し、

また、総会が同報告に注意を向けた1995年12月22日の総会決議50/163を想起し、

所のプログラムと他の経済的、社会的問題との調整および波及を改善するために、理事会の分析と、所が第3委員会だけでなく、関連する議題の下で総会の第2委員会に対しても報告するべきであるという理事会の勧告に注意を払い、

第4回世界女性会議において所が果たした重要な役割と、この会議のフォローアップにおける所の役割とを認識し、

また、国際人口・開発会議、社会開発世界サミット、国連50周年、第2回国連住宅会議(Habitat II)、国際高齢者年に関する活動に対してその専門領域において所が行いつつある同じく重要な貢献を認識し、

1975年12月15日の総会決議3520(xxx)に明記されているとうり、女性の地位の向上のために所が調査と訓練を遂行するための所の本来の権限と明確な資格を再確認し、

1. 国際女性問題調査訓練研修所理事会の第16回会議の報告とそこにふくまれている決議に注意を払い

2. 女性の経済的、政治的エンパワーメントの過程にあてられた諸問題一すなわち、ジェンダー問題における統計と指標、女性と廃棄物管理とエネルギーの再生可能な源泉、高齢者や退去者や難民や女性移民のような様々なグループに関連する諸問題一についての所の作業をたたえ、

3. また、女性の地位向上に貢献するプログラムを推進するために、国連システムの専門機関と関連機関、そして他の機関、プログラムや諸協会との間の積極的で密接な協力を一層進めるための所の努力をたたえ、

4. 女性の地位向上にとって非常に重要な独立した調査研究や訓練にたづさわる資源のレベルを維持する重要性を繰り返し、

5. 諸国、政府間機関や非政府組織に対して、女性の地位向上のための国際調査訓練研究所のための国連信託基金への任意の寄金と抵当を通じて貢献し、所がその指令に効果的に対応し続けることが可能になるように呼びかける。

女性の地位委員会（CSW）のインストローについての決議,1996年3月

女性の地位委員会は、ニュートークで開催されたその第40回会議(1996年3月11～22日)において、「行動綱領は1995～2000年の期間に、国連システム

のすべての組織と機関の作業を通じて遂行されるべきである。・・・」(Doc E/1996/26) ことを決議した。女性の地位委員会は経済社会理事会の注意をひき、1996年6月24日から7月26日にかけてニューヨークで開かれた独立のセッション(E/CN.6/1966/66)で承認した次のような決議を採用した。

女性の地位向上のための国際調査訓練研究所

女性の地位委員会は、

総会が、1975年12月15日の総会決議3520(xxx)において明記されているように、女性の地位の向上のための調査研究と訓練を遂行するために女性の地位向上のための調査訓練研究所の本来の権限と明確な資格を再確認した1995年12月の総会決議50/163を想起し、

政策立案とプロジェクトの実施が問題と女性に対する関心事として生じつつある領域に向けられることを保障するための独立した調査研究の必要と、そこでの所の活動の役割を強調しながら

1. 女性の地位の向上と開発過程への女性の統合のために専ら調査研究と訓練を行う国連システム内の唯一の機関としての女性の地位向上のための国際調査訓練研究所の唯一の機能を強調し、作業活動のためと第4回世界女性会議で採択された行動綱領の実施のためのバックグラウンドとして、その研究結果を政策目的のために利用可能にすることの重要性を強調し、

2. 行動綱領の第360節—そこでは次のように述べられている—女性のエンパワーメントの促進において、したがって行動綱領の実施において、中でも女性の地位向上のための研究、訓練および情報活動、ならびに開発努力にジェンダーの視点を入れるための技術的、財政的援助において、それぞれの権限内での、国連の諸基金、計画および専門機関、特にUNIFEMとINSTRAWの役割を認識し、国際社会から提供される資源が十分なものであることが必要であり、十分な水準に維持されるべきであること—を再確認して、

3. 所が国連システムの専門機関と関連組織や他の協会等と活動的で密接な協力を一層進める必要を強調し、

4. 行動綱領の実施において所が遂行しなければならない特別な役割を認識して、

5. 女性の経済的、政治的エンパワーメントの領域—すなわち、ジェンダー

問題における統計と指標、コミュニケーション、女性、自然的資源と持続する開発、水、衛生と廃棄物管理、エネルギーの再生可能な資源、における調査研究と訓練活動の調整、女兒、女性高齢者、女性退去者や難民女性や女性移民や地方の女性のような様々な人口グループに関連する諸問題一での調査研究と訓練の調整を通じての、女性の地位向上をきびしく阻害しているすべてのレベルの貧困に向けた所の努力をたたえ、

6. 事務総長に対して、1994年12月20日の総会決議49/163に提示された指令を実施することを促す。

3 インストローのジェンダー統計に関する最近の活動

インストローの活動は、女性のエンパワーメント、ジェンダー課題に関する統計と指標、女性と環境と持続的開発の分野を中心に、調査と訓練にそくして、関連諸機関、地域や各国での活動を援助し、また各機関と共同作業をすることである。1994年以降のインストローにおけるジェンダー統計に関する活動を紹介しよう。

1994～95年の活動

この期間の活動報告【General Assembly(1996)】によれば、主な点は以下のとおり。

- 1) 女性の貢献の評価の方法。この計画の第一局面の作業結果は、*Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting Through Time and Output*にまとめられた。この文書は、(a) 女性と男性の両方の有償および無償の貢献を把握し測定するための改善されたデータ収集テクニックの開発、(b) 無償労働を評価する帰属計算テクニックの開発、(c) 世帯生産の国連国民勘定体系へのサテライト勘定を通じての包含、という3点にあてられた。この文書は販売文書であり北京会議で入手可能になった。この研究の結果は、1995年3月6～8日にECE地域の政府間統計家のワークセッションで紹介され、評価を受けた。第二局面の作業として、上述文書の勧告に基づいて、ネパール、カナダ、ハンガリー、フィンランドをふくむいくつかの国で開発されたテクニックや方法の検討プロジェクトを開始した。先の文書の補完資料とされる。
- その他、ドミニカ共和国の統計局と協力して生活時間調査を進めつつある。

- 2) 世界の女性第2版および1995年人間開発報告への貢献。世界の女性第2版に関しては、内容についてと資金的援助にあたり、人間開発報告に関しては、内容、とくに女性労働の評価について貢献した。
- 3) アジアの女性に関する統計と指標についてのサブ地域ワークショップ。1994年3月8～25日に、東京と大阪で、アジア統計研修所と日本の国際協力機関との協力の下で開催。第4回世界女性会議への各国の報告書の準備のために国連女性の地位向上部が推薦する一連の指標を検討することを焦点とした。このワークショップは、この地域で1985年以降、第6回目にあたる。
- 4) ジェンダー統計についての訓練資料の開発と政策。国連統計部、ユニフェムとの相談の下にジェンダー統計に関する訓練資料の開発作業をすすめた。1990年からインストローは、高齢女性に関するデータを収集・分析する作業を続けており、*The Situation of Elderly Women: Available Statistics and Indicators* を出版している。これをさらに発展させる作業に取り組んでいる。ちなみに、1999年は、国際高齢者年とされることが、国連総会で決議されている。
- 5) 女性についての統計に関するインストロー／E E Cの合同作業セッション。198年3月6～8日に ECE との合同ワークセッションが開かれた。国連統計部の協力の下でこのセッションは第5回目であり、この地域での政府間では唯一のジェンダー統計に関する協議・討論の機会であるとされる。次回は、1997～1998年に、(a) 経済的福利、生涯の過程でのキャリアの異動、民間および公的な金融的移転と同一価値労働同一賃金、(b) 介護活動：生涯の過程で、誰が誰を世話するか、および介護活動の理解、(c) 無償労働：無償労働の測定の開発とサテライト勘定体系への組み入れ、(d) 暴力と犯罪の統計的測定における前進、のトピクスに関わって開催される予定である。
- 6) 第28回国連統計委員会と地域統計家会議への参加。ECの招待で、ヨーロッパ統計家会議（パリ、1994年6月12～16日）に参加した。地域の統計家の関心は非常に高く、とくに移行諸国のジェンダー統計への援助が勧告された。その他、第28回国連統計委員会（ニューヨーク、1995年2月27日～3月2日）、第9回エスキャップ統計委員会（バンコック、1994年12月11月28日～12月2日）、第23回所得と富についての国際学会（ブルンスウィック、カナダ、1994年8月21～27日）、国際移民労働者の労働と家族生活に関する

るシンポジウム（日本大学、1994年12月5～8日）に参加した。

7) 第4回世界女性会議に関わる活動。インストローは、世界女性会議の準備過程で、世界規模と地域規模を中心とする多数の予備会議、また北京会議の打ち合わせに参加し、また世界女性会議期間にパネルやイベントを主催・共催した。会議期間中のジェンダー統計関係の催しは、NGO フォーラムでの「生活時間統計と女性と男性の貢献の確認」（8月31日）と政府間会議中に政府代表者向けに、「女性の経済的・政治的エンパワーメントとジェンダー統計の必要」のパネル（9月12日）であった。

1996年～1997年にかけては、INSTRAW(1996)によれば、

北京会議の行動荒涼のフォローアップ過程を実施する手段としてジェンダー門だに関する統計と指標についての研究・訓練計画を貴族するものとして、特に焦点になるテーマとして、次をあげている。

(1)無償労働の測定と評価。女性と男性の（有償と無償の）活動と労働についてのデータ収集の改善。労働市場での女性の就業の測定の改善。無償労働の問題を数量的に評価し、サテライト勘定を通じてそれを経済的指標に反映させる不法を開発する。生活時間統計と活動分類の分析。

(2)政策企画、プログラムの計画化、実施、監視と評価におけるジェンダーにそくした具体的統計と指標の利用の改善。

文献・資料

General Assembly(1995),Activities of the International Research and Training Institute for the Advancement of Women, Report of the Secretary-General, General Assembly 50th session,A/50/538, 23 Oct 1995,（インターネットにより入手）

INSTRAW(1996a),*Instraw Biennium 1996 - 1997*

INSTRAW(1996b), "Documentary Materials", *INSTRAW NEWS*, Special issue No.24/25

UN Economic and Social Council(1996), Report of the Board of Trustees of the International Research and Training Institute for the Advancement of Women on its sixteenth session,,E/1996/56,20 May 1996

II ジェンダー統計に関する主要論文・ 記事

インストロー・ニュースから

1 アンパイド労働の測定と価値評価

インストロー・ニュース 20

80年代の半ばのある時、私はネパール西部の丘陵の行くのがかなり困難な地域を世界銀行の仕事で訪問していた。ネパールにおける開発の進捗についての論議の中で、私はそれが非常に遅いことを嘆いた。彼は注意をうながした。「このようなかなり遠隔な地域の道端の店に、コカコーラがあるということは十分な速さで開発されているに違いない」。私は討論をあきらめた。私がおこなわれる疑問は、もし人々がこれまで消費してきたミルクの販売をはじめ、コカコーラやガムや栄養価のない生産物に金を使うとすると、人々の境遇は改善されたのか？ これは進歩なのか？ 経済学はこれを扱うことができるのか？ ここには3つの異なる問題があるようにみえる。

第一に、これらの人々が家で消費するミルクの生産は、価値評価されず、したがって、どの所得統計にも全く計上されない。しかし、ミルクが販売されるようになると、それは（たとえ、世帯の実質所得が増加しなくても）世帯の所得に反映させられる。第二に、ミルクの消費は、栄養の見地からは価値の低いものへの現金支出に置き換えられてきた。第三に、実質所得のこの置き換えの被害を最も受けている者は、女性と少女たちである。というのは、女性と子供によるミルクの消費を犠牲にして現金所得を使うのは男性だからである。これは、農村の世帯、特に女性の世帯の発展であろうか貧困化であろうか？

この問題に肯定的であれ否定的であれ回答するには、世帯所得がミルクと世帯生産活動の商業化がよりうまく測定されて、その前後で完全に一致することが必要である。多くの開発途上国で、世帯生産は広いスペクトルをふくみ、世帯の生活手段の大部分を提供している。しかし、国民勘定のデータは、世帯の所得と生産のごく小さな部分を反映するだけである。それらはまた矛盾している。例えば、それらは持ち家や自営の農業生産を帰属価値計算して国民勘定にふくめるようだが、女性が集めるかいぼや薪あるいは食品加工の際に生み出される価値を除外する。この矛盾はまた労働統計にも反映している。自分の農地で働いている男性の大多数は経済的に活動しているとみなされるが、多くの時間を二次的働き手として農場や世帯産業で過ごしている女性の多数はそうはみなされない。

料理、洗濯、買物といったサービスは非経済的とみなされるので、世界中の女性の過半数は、女性の世帯での活動が家族の生存と労働力の再生産にとって基本的なものであっても、経済的に非活動とみなされるのである。

女性の主な活動、すなわち、家事や育児を国民勘定から除外する結果として、女性を社会・経済的に周辺化することについては、1970年代半ば以来広範囲にわたる論議がある。しかしながら、既存の経済モデルやデータの収集方法は、女性の多面的な生産的活動、特に無償（アンペイド）の活動をただ単純に把握しないし、把握できないでいる。

この問題に就いて、インストローは、インフォーマルなそして世帯内のサブシステム生産部門の労働／活動について、それらを国民勘定、特に「サテライト勘定」と称されるものにふくめることができるように、その費用にかなった測定と価値評価を開発するプロジェクトを現在進めている。「サテライト勘定」とは、既存の国民勘定体系への補足であり、非常に重要であるが現在は目に見えない仕事、特にほとんどが女性によって行なわれる家事労働や手作りの活動の価値を推定する勘定と定義できる。

ネパール、ドミニカ共和国、ヴェネズエラ、タンザニアおよびハンガリーという5カ国のケーススタディからの予備的結果と、このテーマについての様々な研究の推進による世界的な蓄積に基づいて、インストローは現在、国民勘定

体系（SNA）【訳者注：日本では国民経済計算という訳が一般に与えられているが、国民勘定体系の方が正確な訳語と考えるので、この訳語を用いる】から除外されている一団の活動を確認した。次のようなそれらの活動のいくつかー 1)世帯維持活動、すなわち、食事の用意、家事労働、買物、修繕サービス、育児、高齢者の世話、およびこれに関連する旅行、2)人的投資活動、すなわち、教育、技能開発、およびこれに関連する旅行ーは、提案されている「サテライト勘定」にふくめられるべきである。睡眠、食事、（手、顔、身体などの）洗い、そしてメディア、ゲーム、社会的イベント、スポーツ、散歩に関連する活動や関連する旅行といった個人の維持に費やされる時間が。同じように測定されるべきであるが、それらは提案されている「サテライト勘定」にはふくまれないことになろう。図1は、提案された活動分類を視覚的に描いている。

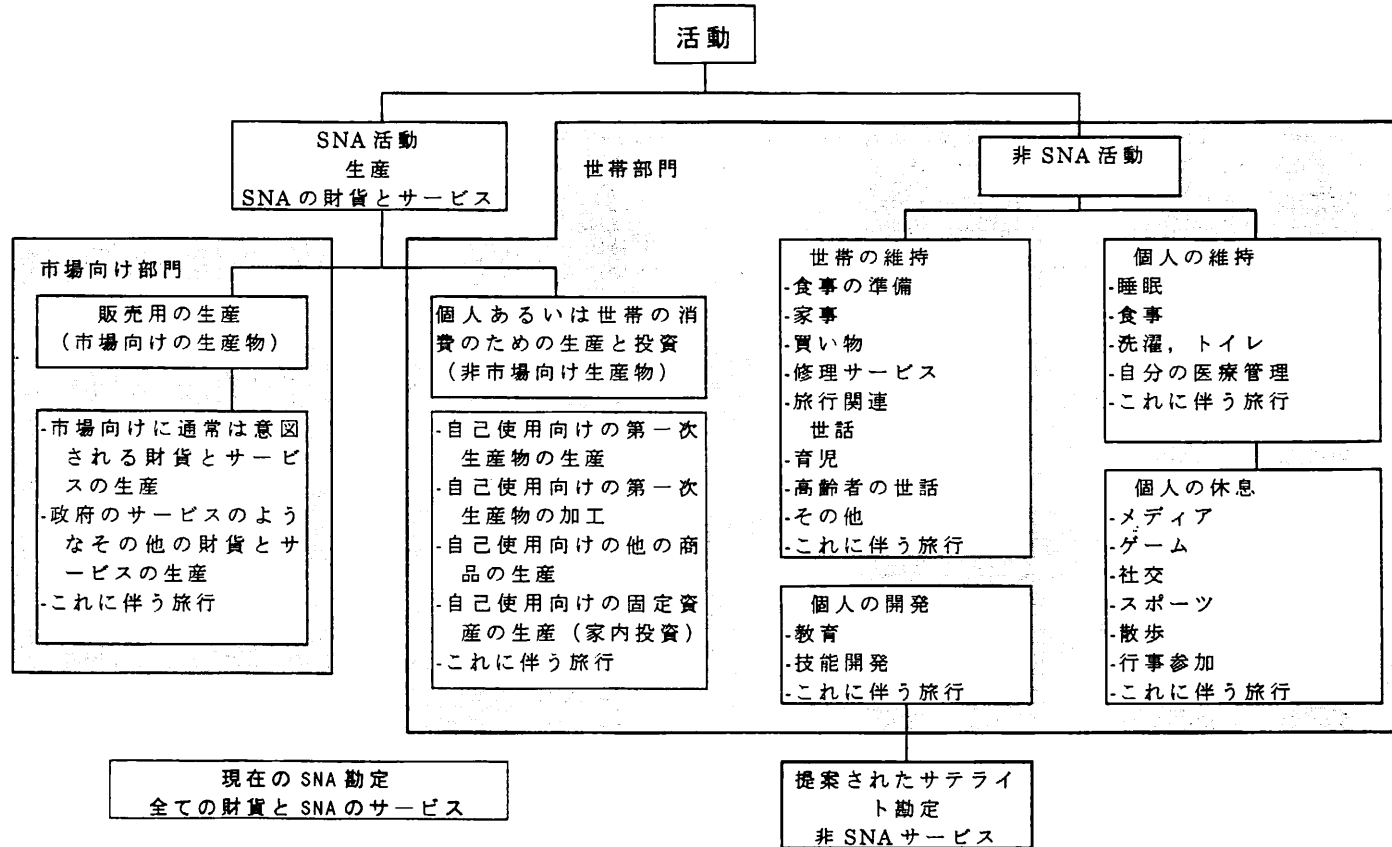
この提案された活動分類に従って、3つの大きな活動分野（SNA、サテライト勘定、その他）の各々で、両性が費やした推定時間を把握するために、いくつかの予備的な試験が行なわれた。ネパールについての結果（表1）は、SNAと「サテライト勘定」における女性と男性が費やした時間には驚くべき違いがあることを示している。男性は有償労働に女性のほとんど2倍の時間を費やしている一方で、非市場的な財の生産（個人的あるいは世帯の消費のための生産と投資をふくむ）については逆になっている。非市場的な財の生産に関連する活動は、専門的にはSNAの生産境界の内にあることを認められた。しかしなお、データの収集技法が不十分であり、価値評価法が不十分であることのために、多くが計算されないままである。申し分のない例はネパールの西部の丘陵での人々によるミルクの生産である。さらに、ケーススタディでのネパールの女性は、世帯維持に男性の2倍以上の時間を費やしている。同じ結果が他の国の研究にあらわれている。

これらの研究の結果は、出版のために目下完成しつつある。それらは、SNAを補足する手段として非市場的生産についての情報を収集し、価値評価するためのガイドラインを提供するはずである。1985年にルース・シバード(Ruth Sivard)は、世帯における女性に記録されない活動は、もしそれが計算されるなら、世界の総生産に3分の1を加えるだろうと推定した。インストローの研究は、これを開始に向けてのひとつの道である。

表1 インストローのネパールのケーススタディに基づく
 主な時間利用推定（年当たり時間）

	ネパールの男性	ネパールの女性	ネパールの合計
支払い労働	1537	978	1258
非市場財生産	587	927	757
SNA合計	2124	1905	2015
世帯維持	756	1968	1362
個人的投資	n/a	n/a	n/a
サテライトでの合計	756	1968	1362
個人的維持	3220	3237	3229
個人的消費	1989	1179	1584
旅行	672	475	574
その他合計	5881	4891	5386
年間総時間	8761	8764	8763

図1 インストロー
生活時間測定と無償労働の計画
1993年のSNAに基づいた分類



2 女性の時間：新しい価値を与える（論説） インストロー・ニュース 21

こういうイメージは、数十年にわたってなじみのものになっている。つまり、女性や若い少女が水や燃料用の木の重荷を運びながら田舎道を重い足取りで歩いたり、肥やしを集めたり、子供や動物と一緒に川で洗濯したり、共同の井戸から水を汲み上げたり、家族の食料のために穀物を挽いたりしているというイメージである。このメッセージははっきりしている。これらの女性はとても貧しく働きすぎていて、そのほとんどが無償だということである。

しかし、彼女たちは写真の中では見えているのであるが、意思決定者や、政府のエコノミストや開発計画者には彼女たちは見えていないままである。もし女性たちが労働力ではなくて、家で生産した物を売らなければ、彼女らは生産的とみなされる。国の統計では女性は数えられない。家族（そして全体としての社会）が、実際まさに生存のための食料や水や健康管理という基礎的な必需を用意するために女性を頼っているという事実は、関係のあることとはみなされないようである。

まるで例外的であることを強調するように、開発計画者は定期的に、女性の役割を世界の天然資源、特に水とエネルギーの第一の利用者および管理者であると認めてきた。しかし、同時に、彼らは、経済や環境のいずれかに対する女性の影響を認めたり、立証したり、定量化したりすることができないで、あるいはそれをいやがってきた。この影響が明確に規定されるまでは、1975年の第一回世界女性会議で決議された目的、つまり開発の平等なパートナーとしての女性の参加は、完全には受け入れられも実施もされないだろう。

インストローニュースのこの号では、統計的な障害を乗り越えようとする私たちの努力の中での重要な突破口を述べることを喜びとしたい。インストローは、女性の無償労働に価値を与える手段として、広く認められた統計的な手段つまり生活時間データの収集を採用した。

ときとして、国内的あるいは国際的な政策計画者は、ジェンダー明示的統計の欠如が国の国内総生産（GDP）の数値をゆがめてきただけでなく、交通、灌

概、地方と都市の水の供給のような分野の有効な計画の展開を妨げてきたことにも合意してきた。(例えば子供を育てたり、水を集めたり、料理したり、家族が使う食用穀物を育てたり等の) 伝統的に不生産的と考えられてきた仕事をふくめた一日のすべての仕事の中で、男性と女性と子供が費やした時間を別々に分析することによって、より現実的で決定的に重要な新しい次元を経済分析や国内の生産性の概念に加えることができる。

本号の第2の部分では、この同じ問題の特定の一面、つまり女性による水資源の管理や、国内のおよび国際的計画のもっとも高いレベルへの女性参加の重要性を取り扱う。ラテンアメリカで最近行われた2つのインストローの訓練セミナーに対する評価は、女性が意思決定過程のすべての段階に注ぐことできる知識や技能、またいかなる規模であれいかなるレベルであれ水に関するプロジェクトの成功にとって女性がいかに決定的であるかを、再度実証している。新しい教育と適切な技能での訓練にアクセスできないことは、開発計画への女性の全面的な参加の主要な障害であり続けている。

ジェンダー明示的統計に対する必要性、特に水に対する女性の管理や開発や使用の規模や影響についてのより多くのデータの必要性は、両会議を通じてのテーマであった。おそらくこの点で最も重要なのは、1992年にリオで行われた国連環境開発会議(UNCED)以来に起きた資源としての水の概念の変化がすべての議論に反映したことであった。水はもはやすべての人に与えられるぼう大な無料で供給されるものとしてではなく、女性をふくむその利用者からの需要に対応して保全され、価格がつけられ、配分されるべき価値のある希少な経済商品として見るのである。

インストローにとって、その根底にある皮肉は明らかである。つまり、水がもはや無料ではないなら、それは女性の時間もまた無料ではないのである。これは、私たちが来年北京で行われる第4回世界女性会議を見越すとき打ち立てられるべき基盤である。

3 道具としての時間：統計のジェンダーギャップを埋める

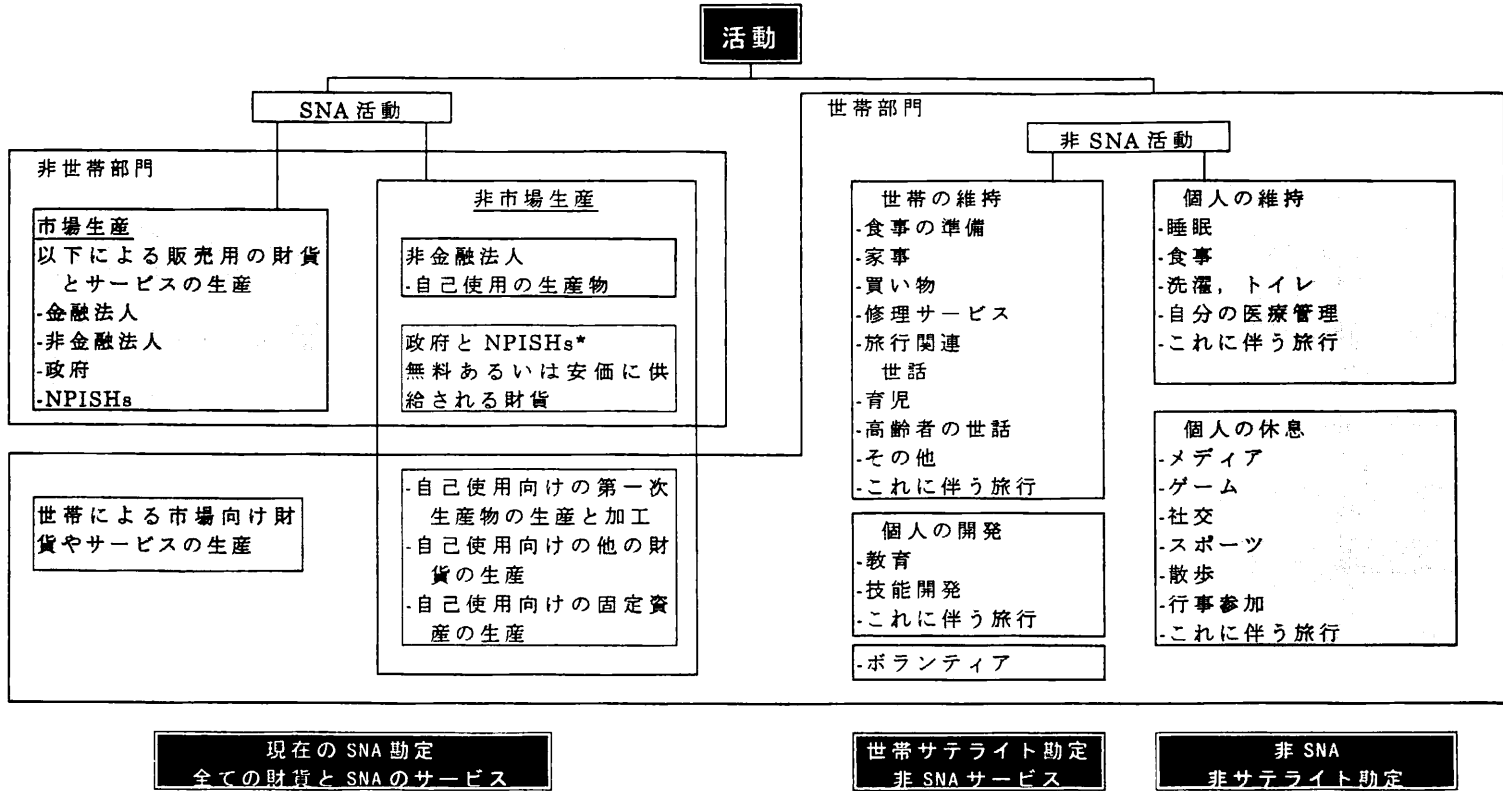
インストロー・ニュース 21

多くの人は、女性の仕事は決して終わることがないという古い格言に賛成するだろう。しかし彼女たちの仕事は本当にとれだけの価値を持つのか。現在までその答えは、統計的にはブラックホールに等しく、その概要や構成は推測されはしたが、確認されてなかった。別の状況ではコンピュータから生まれる事実や数字であふれる時代の中で、女性が行ったことの大きさや価値について利用可能なデータがほとんどない。とりわけ開発途上国でそうである。女性は、多くの国の統計的プロフィールにおいてはほとんど見えないのである。女性の経済的貢献は、特に彼女たちが伝来の労働力の外にある場合には、男性や政府だけでなく女性自身によっても評価されないか、過小に評価されるのがせいぜいである。女性が行っていることを質問すると、決して容易な仕事ではない育児のために家にとどまっているもつとも教育があつて洗練された女性でさえ、「何もしてません、私はただの主婦です」とおそらく返事をするだろう。

世帯で行われる無償の生産は明らかに、測定され価値評価される必要がある。これはほぼ 20 年前の 1975 年にメキシコシティーで行われた第 1 回世界女性会議で原則的に承認された。10 年後の 1985 年のナイロビの国連女性会議では、150 を越える国で採択した将来戦略が、特に女性による無償労働を国民勘定と統計にふくめることを求めた。

インストローは、国連統計部 (UNSTAT) といくつかの専門機関との緊密な協力の下に行われた 2 年間のプロジェクトの中で、統計的な道具としてよく知られている生活時間を修正し、それをいままで一度もまとめたことのないいくつかの新しくて様々なタイプのデータを収集するために使った。これらのデータは全体として、無償でふつうは目に見えない女性の経済貢献を計算し価値評価する改善された枠組みと方法論を提供している。インストローの研究である『無償の貢献を測定し価値評価する：生活時間による計算』は、現在の生活時間の最新の観察や女性による無償労働についての他の研究をふくみ、重要な工

インストロー，生活時間測定および無償労働のプロジェクト
SNA を基礎とした活動分類の枠組み



*NPISHs とは非営利組織が世帯に奉仕すること。1993 年 SNA の表 6.1 に基づく。

夫や、行動分類の方法の改善や、幅広く多様な経済や文化に直ちに対応できる柔軟なデータ収集の方法を推奨している。

関係する背景の下での問題：不完全な数値

効果的な政策決定は、正確で包括的な統計に依存する。ある活動の実施について、その程度や頻度や場所や理由を知ることなしに、その活動を変更あるいは改善したほうがよいか、あるいはどのように変更あるいは改善するのがよいかを知ることが不可能である。例えば、公衆衛生の状態を評価する際に、医者数と病院のベット数を数えるだけでは不十分である。つまりその数字は、家庭で病人や老人や若者に対して女性が提供する健康管理も反映すべきである。国内総生産（GDP）を決定する現在の国民勘定体系（SNA）は、有償あるいは市場向きの商品やサービスに広く基づいている。この方法はそれがふくむものと同じ大きさのものを除外している。例えば、家族のための女性による調理は市場向け活動とはみなされず、したがってふくまれない。しかし、もし女性が調理をしないなら、調理済み食料品での事業は繁盛して非常に急速に発展するだろう。先進諸国での加工食品産業の急成長はこれを証明している。市場向けサービスと市場向けでないサービスの間の境界線は、ときとして不明瞭と言うよりはあきらかに勝手なものである。

より広い規模においては、サハラ以南のアフリカでは、女性は家庭で消費する食料生産の 80 % 以上、またすべての農業生産物の半分以上について責任を負っていると考えられている。しかし、アフリカの GDP の数字は一般的には、その大部分を男性が栽培し開発援助の焦点となる傾向をもつ穀物など市場に実際に持ち込まれたり輸出される生産物だけを計上する。したがって、ゆがめられた数字は政策をもゆがめる傾向をもつ。技術的援助を女性に対して向け直すことが、標準化された正確な統計に基づいて緊急に必要である。

1993 年に、SNA は三度目の改訂を行い、市場を意図するかしないかにかかわらず、生産されたすべての商品と同時にすべての市場向けのサービスをふくめた。このいわゆる拡大 SNA は、伝統的ではない経済活動を捉えた大きな改善で目立っている。この変化の重要性を評価するには早すぎるけれども、明らかに、例えば調理、修繕、掃除、アイロンかけ、育児、買い物等という無償かあるいは

は市場向けではないサービスは——別な言い方をすれば決して行われていない（とみなされてきた：訳者）女性の仕事の大部分——計上されないままに残されている。

無償活動に価値を与える上での主要な障害は、適切な方法論の欠如、特に現在の SNA に特有の男性的偏向を乗り越えるジェンダー明示的なデータの欠如であった。インフォーマル部門のパラメータ（例えばサブシステム農業、路上行商）を分析するのに UNSTAT、国際労働機関（ILO）、国連開発計画（UNDP）と共同で行ったインストローの初期の作業は、女性の活動の領域での深刻なデータの空白を実証した。新しい世代の統計的道具には、統計家が比較可能な分析と提示の共通のシステムを使いながら、非伝統的な経済データを正確に収集できることが必要である。

新しい技術を設計する

ディオゲネスは「時間は男性が費やすことのできるもっとも価値ある物である」と言ったといわれている。彼が今日生きていて、なお誠実さを探し求めているなら、彼はきっと女性もふくめるだろう。インストローの研究は、女性の時間の使い方を知ることが、無償ではあるがそれにもかかわらず生産的である活動を測定し評価するための唯一の基礎であることを実証している。このようにして、体系的な生活時間調査は、無償で非市場的活動の正確な推計を提供するための、そしてそういった活動の1日、週、さらには季節ごとのパターンを、他との関係つまり市場志向の活動との関係とともに実証するための、唯一の妥当な統計的技術なのである。

1日がどう過ごされているか、仕事、遊び、食事や睡眠か、を詳細に測定する生活時間調査は、先進諸国では広く使われているが、開発途上国ではほんの一握りである。要求される、より一般的な技術や、日記帳の配布や、特別に訓練された調査員によるインタビューは、開発途上国、特に識字率が低い傾向にある遠隔の農村地域においては不適切であることがよくある。

しかし、基礎的なデータの必要性がもっとも大きいのは、正確にはこれらの地域なのである。例えばネパールでは、拡大された SNA でさえその弱点があることが明らかになる。つまり家計収入の3分の2以上が世帯レベルの企業つま

りサブシステム農業によって生み出されているのだが、1993年の数字は、基本的に女性によって行われる収穫後のあるいは後の食品調理の多くを除外し、小家屋の生産や他工業だけをGDPにふくんでいる。さらに、改訂SNAは重要でないとみなす生産物を除いており、よく言っても基準はあいまいである。ネパールでは、これは、GDPが世帯の消費のために――繰り返しになるが主に女性によって行われる――多くの小さな穀物栽培を除外していることを意味する。つまり、ネパールの統計は国のサブシステム経済のまさに中心を見過しているのである。

挑戦課題は、この計上されない生産性ととも潜在的にははるかに大きい家庭内サービスという貢献をジェンダー別に把握して、世帯の福祉と国民経済全体の両方に対する女性の本当の影響力を反映させることである。基本的な生活時間データは関連する様々な経済的および社会的過程についていくつかの理解を提供することができる。しかし、この数の大きさひとつだけを見てもこれらの数字が現在の統計とは別のものとされ、SNAの数字が圧倒されないようにそして一層歪められないようにすることが要求されよう。新しいデータをサテライトの「非SNA」勘定に分離することは、その存在を記録することを助け、さらに世帯経済の大きさや生産力を定義づけるだろう。このことは、他のSNA統計と比較可能であるだけでなく、地理的地域、国民経済、社会的文化的伝統の中の幅広い違いを包み込むに十分な柔軟性をもった形式を必要とする。したがって、いかなる新しいシステムも、例えばこれまで無視されてきたものを捉えるための再分類や再コーディングといった生産力の再定義を必要とするだろう。

以下は、女性についての新しいデータを収集するためのインストローの勧告のうちいくつかの要点である。これらのデータは、いくつかの先進諸国（例えばカナダ、フィンランド、フランス、合衆国）やネパール、バングラディッシュ、タンザニア、ヴェネゼラ、ドミニカ共和国をふくむ主要な開発途上国で行われた生活時間研究についての過去の調査や経験に基づいている。

分類の作成：非SNAサテライト勘定

どんな統計的分析でも最初のステップは、データをまとめたり使ったりするすべての人にとって容易に理解できる体系の下で、測定されるべき構成部分を

分類することである。資料を国内のおよび国際的レベルで容易に比較できるようにする共通の形式もあるべきである。別の言い方をすれば、国富がアメリカドルで述べられるのと同様に、経済あるいは社会のシステムの違いに関係なく生産性の向上や生活水準の改善が共通の基準で測定されなければならないということである。

世帯の生産力の場合、従来の生産的、すなわち実際に市場を通さなくても市場向けであるという意味の拡張にあたる活動は決して認められてこなかった。市場と非市場の区別はしばしば不鮮明である。例えば、家の大きな修理——これは価値の点から定量化するとおそらく十分高価である——は拡大 SNA にふくまれている。しかし、例えばペンキ塗り、壊れた器具の修理など多くの世帯にとって共通する小さな修理は、もしそれを自分自身で行うなら、それらが明らかに多くの時間とエネルギーを消費し、確かに金を節約するけれども、含まれない。これらの修理で使った時間の正確な計算によってだけ、男性と女性のどちららによって行われようが、このタイプの家庭内活動を捉えることができる。

以上のことや他の非市場活動を調整するために、インストローは非 SNA サービスすなわち無償サービスについての別の分類の体系を推奨する。これらは育児、調理、家族の金銭管理などの他人に利益をもたらすすべてをふくむ。新しいサテライト勘定は、本来取引可能な評価をもつ教育や技能訓練のような「個人的開発」活動も、たとえそれが市場ではまったく使われなくとも、ふくむ。食事や睡眠や休養のような他の個人的活動は（明らかに誰によってもあるいは誰のためにも行われたい）不生産的あるいは非取引的であるとみなされるのであるが、インストローが提案する活動分類にリストされ反映される。それらは個人的維持（例えば誰か他人にするのではない散髪）か個人的消費（例えば読書、テレビ鑑賞）のどちらかに分類される。これらの個人的活動は実際の生産力の計算からは除かれている一方で、それに費やされた時間は生活の質を評価するための要素として測定されるべきである。

時間を理解する：相対的な意味

時間の使用は明らかに新しい体系の核にあるものだが、時間が実際に何であるかという適切で一貫した理解を得ることは、大きな挑戦課題であることがわ

かった。どんな国でも、国内では農村地域と都市地域の間で、また異なる社会経済分類の間で、時間の使用には幅広い多様性がある。しかし、開発途上国では、識字率が追加的な、さらにより中枢的な問題となる。つまり非識字者が多い孤立した農村地域では、時間は、天文学的あるいは数学的に秒、分、時間、日、週に分けられるものではなく、自然に起因すると広くみなされている。腕時計や置き時計やラジオは、多くの遠隔の地方では珍しいか存在しないかのどちらかの傾向にある。つまり、時間が日の出や日の入りや季節の移り変わり等で測られるところでは、記述する時間日記は使えない。与えられた期間内の特定の時間に行ったすべての行動や、ある仕事を終えるのにどれだけ時間がかかったかを記録するよう女性に頼むことは、当然、不正確で深刻なゆがみをもたらすだろう。

同じく多くの地域で適応するのがより難しくはないもう一つの通常の生活時間の技術は、家族のメンバーに彼らの時間配分の仕方について主観的な評価を、例えば「昨日のあなたのもっとも重要な活動はなんですか」と質問することである。経験では、これは他の活動について費やした時間を省略してしまうことにしばしばつながることが示されている。例えば、女性は典型的に、容易に思い出し報告できる食事や入浴のような小さな子供の肉体的な世話に一日の重要な部分を費やしている。しかし、抱いたり、しつけしたり、ただ子供を見守るなどの他の形で子供とお互いに過ごした時間はたいてい見落とされる。これらの働きは習慣的あるいは無意識でさえ行われ、たいてい多くても秒とか分の間のとても短い時間である。幼児期の初期の成長に対するこれらの行動の価値に疑問を持つ者はほとんどいないであろう。責任ある人の価値もまた認められるべきである。

同様に、燃料の収集や食事の準備に費やされた時間も正確に報告されていないかもしれない。材料の費用あるいは推定価値、食料の調理方法、調理用具や器具、食事の人数、等についての情報を要求することで、食事準備の本当の価値を評価することが可能となる。この技術は他の基本的な世帯活動にも適用できる。

しかし、このような日記は、その内容がどれだけわかりやすくても、その正確性を保障しない。女性とその家族を直接的に観察することが、有益な検討や

食事の準備日誌

次の3日間の中に、あなたが食事を準備し、あるいは飲み物を入手したり作ったりするごとに、以下の情報を提供してください。

始めた時間 _____

終わった時間 _____

目的：

- _____ 朝食
- _____ 昼食
- _____ 夕食
- _____ おやつ
- _____ 弁当箱 _____ 携帯 _____ 軽食
- _____ 貯蔵、将来に使用
- _____ 特別な行事（例えば祭日の式典）
- _____ 他人にあげるため
- _____ 余暇
- _____ その他（具体的に書いてください）

何人のために作りましたか。 _____

何を準備しましたか。 _____

主要な材料は何でしたか。

材料の推定価値はどれくらいですか。 _____

主な調理方法は何ですか。 _____

どんな器具を使いましたか：

コメント： _____

補いを与える。しかし、これも、少なからずプライバシーの侵害という固有の限界を持つ。統計家は、日々の生活のもっとも個人的な側面について報告することを求められている。これと同じく重要なのは、その世帯内に外部の者がいることであり、当然、その調査される主体がこれを気にし過ぎる傾向にあることである。家族がもっとも良いところを見せたいと思うことによる不正確性は、むしろ無作為あるいはスポット抽出法の固有の危険性である。

他の難しさもある。家の中での観察は、家族メンバーによる家を離れた散らばった場所やより広い社会でのボランティアとしての重要な無償活動を除いてしまうかもしれない。観察は典型的には昼間に行われるので、食料のための狩りや儀式への参加が夜遅くに行われ中では、例えば家事や園芸は過剰に報告されるかもしれない。葬式のような昼間の中断によって、重要な仕事を日がすっかり暮れるまで延ばしてしまうかもしれない——例えば地方の家内産業のために家でやる請け負い仕事がそうである。

これらの問題にもかかわらず、生活時間データの収集は、これまで隠れていた活動を捉える唯一の確かな方法であり続けている。それは、農村の文化にはなじみのない数学的な時間概念に対する必要な代替案を提供する助けになることができる。柔軟性——そして多くの実験——は、意味ある比較可能な分析を可能にするために、情報を一貫した信頼のあるものにするために必要だろう。一般的な方法論のガイドラインの開発、すなわち従来 of 統計理論と実地観察の組み合わせが次の段階に必要である。

同時行動：一日に30時間？

実際には誰の行動も、独立していたり、他のすべてを除いた厳密な連続の中にあるわけではない。仕事とそれに費やされた時間は重なる傾向がある。例えば、典型的な事務所の状況では、電話での会話はおそらく電話と無関係なことについてノートを取ることや卓上の何かを探すことが同時に行われるかもしれない。同時活動は世帯の環境では特に育児に関わる時、さらによりひんぱんに起こる。すでにふれたことであるが、調理であろうが友人を訪ねに旅行しようが、母親のすることで育児に関わるいくつかの他の活動が同時でないことはめったにない。これらの同じ重なる活動は、例えば母親が彼女のそばに子供をおき、

換金作物を栽培するというように、区分線もこえてしまう。

これらの活動の相対的な価値の判定の問題は、二つの部分を持つ。これらの活動の相対的な価値を相互間で評価すること（例えば重要性という点で第一と第二）と、両方に費やされた時間の合計を正確に計算することである。例えばある研究では、ある日の時間の合計が女性で30時間、男性で27時間になった。この活動を評価することは本来、非常に主観的な過程である。交通は関連するいくつかの難しさについての良い例である。もし子供とともに旅行しているなら、重要なのはどちらだろうか、旅行そのものなのか育児なのか。あるいはもし一人で旅行をしていて途中で読書するなら、重要なのはどちらか、旅行なのか読書なのか。明らかに、大きくは旅行の目的と他の活動に費やした合計時間に依存するだろう。継続がより長い旅行の方を第一と考え、それに対応してウエイト付けされるべきであるという論理がある。しかし統計家は不可避免的に女性自身の主観的な評価に頼ることを強えられるだろう。この問題は、例えば食事と読書が同時におこなわれるときに、どちらを優先するかというあまりはつきりしない判断に対してより困難になった。

生活時間データの収集はこれらの活動や他の同時活動を明らかにし記録する唯一の方法である。慎重な実地調査は、これらの相対的な重要性の計算という問題を解決するのに役立つはずである。

新しい勘定システム：柔軟性が第一

これらおよび他の統計上の障害を認識したことに促されて、インストローは100世帯の男性と女性と子供が行ったすべての生産的活動を捉えるために設計された包括的な研究の一部として、国連人口基金（UNFPA）と協力してドミニカ共和国で試験調査を行った。都市と伝統的地方的環境の両方の設定とともに農工業的砂糖プランテーションから、すべての所得レベルでの社会の断面を代表させるために五つの違う地域が選ばれた。

この調査は、伝統的な時間日記を使い直接観察と対面聞き取り調査中に、思い出した行動のリストアップの組み合わせを使って完成された。農村地域では、直接観察は、家族への干渉を最小にするために、一日4時間を限度とした。それぞれの技術によって他人から提供された情報の正確性と質が検討された。例

例えば、家族の起床時間を判定するために、観察者は日の出のかなり前の午前6時か6時30分に到着するのであった。これは、その日の残り時間に対するその世帯の時間概念についての情報に対する基本線を与えた。

しかし、都市地域では、おそらくより狭い住居や家以外での活動が多いため、直接観察はほとんど不可能なようである。しかし、腕時計や置き時計はここではより一般的であり、日記と一日の終わりの行動を思い出してもらい聞き取り調査は、90%以上の回答を得た。これは、カナダや他の都市地域から得られるデータに一貫している。

この調査からの意味は明らかである。つまり、生活時間データはこれまで捉えられていなかった多くの活動を実際に捉えるし、もっとも正確な技術とは、与えられた地方性や国の具体的な特徴に適応させたものである。従来にはない統計を従来の経済価値のシステムに当てはめようとするには、柔軟性が形式と同じく重要である。

価値の設定

ジェンダー明示的データの収集の最終的な目的は、集計がどうであろうと、経済的ないしは貨幣的価値を、女性が支配的な傾向にある非市場の生産力に与えることである。現在の政府統計とSNAは一般にこれらの活動を無視している。というのも、それらが見えないか、それらに与えられる経済的価値のいずれもが世帯のすべての生産の市場価値の中にふくまれてしまうからである。さらに、無償労働の価値の多くは、特にサービスに関するときには重要とみなされず、SNAの計算外におかれている。

インストローの新しい研究は、生活時間研究だけが非市場活動の本当の大きさ——そして経済的重要性——を実証することができるかと論じている。サテライト勘定体系の設定は、市場志向のSNAと比較可能だが区別される仕方ですそれらの量や価値を推定するために必要である。本質的には、これは関係する労働の市場価値を推定することを意味する。このことは、逆に費やされた時間を注意深く測定することを意味する。

もっとも簡単な形でいうと、これは世帯の生産（調理、子供やその他の人の世話などの質や数）を推定すること、それに市場価値（同じ商品あるいはサー

ビスが部外者から提供されたときの支払い額はいくらか)を与えること、世帯労働による付加価値を計算するために関連するすべての費用を差し引くこと、最後に家族メンバーにこの付加価値を配分すること、を必要とする。

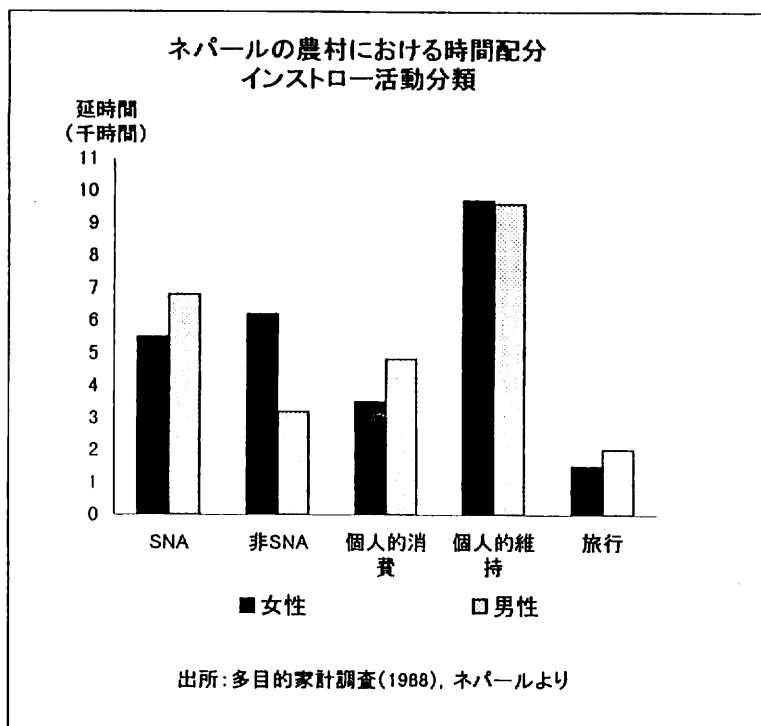
非市場的生産を評価するときに使う方法の中で、例えば女性が毎日育児に費やす時間につくったり売ったりできる衣類の数を判定する方法など、工夫が可能な範囲は広い。生活時間研究は費やした時間の合計を示し、仮説的な衣類の市場価格は、その時間の価値と等しいだろう。したがって結局、生活時間データは地域経済や国民経済の大きさや強さをより現実的に測定するための基盤となる。

将来には：開発の再定義

この統計的打開策の影響ははかりしれない。とりわけ、それは何が本質的にはまさに個人的なものかを公共的な目的のために正確に計算準備することを助けることができる。公共的な目的は決定的である。国内的あるいは国際的な開発政策は生産性の上昇に向けられているが、生産性上昇は必ずしも生活水準の上昇や改善を反映するわけではない。

さらに、アジェンダ 21 は特に、その持続可能で平等な開発に向けた女性の世界規模の行動の中で、国、地方政府、使用主、その他の関連する組織に対して以下の提案をふくんでいる。つまり、「より多くの余裕のある保育園や幼稚園の設立によって、家の中と外で女性と女兒の重い負担の軽減を促進する計画を開発し、女性との協議の下に、設計、開発、改善されてきた環境的に健全な技術、アクセス可能できれいな水、効率的な燃料供給、適切な衛生設備の提供を促進すること」である。

ネパールその他での予備的な生活時間研究は、GDP が上昇する一方で生活水準は実際にはその過程で悪化するかもしれないことを示している。例えば農業生産物の商業化が増加する結果として、世帯メンバーは、より長い時間働き、遠くまででかけて、ときにはつまらない活動や消費財に多くの時間を費やし、もしかすると食べるのを少なくしてますます多くの家内生産物を市場に送り出す傾向にある。この場合、経済発展は一つの幻想である。



生活時間データの導入や国民勘定のサテライト体系の成立は、経済的な幻想を一掃し、経済一般のそして特に世帯生産の本当の規模と価値を明確するだろう。おそらくもっとも重要なことは、女性が計りしれないほどより長い時間働いている事実が始まって、重荷を女性が不釣り合いに担っていることを示すことである。例えばネパールの生活時間データは、有償労働時間において女性が男性とほぼ対等であるだけでなく、非市場活動では女性が2対1で男性より多く働いていることを示している。

他に得られる社会的、経済的情報も、将来の開発政策に重要な影響を及ぼさだろう。数字は、明らかと思われてきたこと、すなわち生活時間パターンの変化は国の経済の構造的変化とともに起こることを実証するはずである。調査はSNAと非SNAとの活動では時間配分の割合が逆であることを示している。つまり、より多くの時間を家の外の市場志向活動に費やすとき、より少ない時間しか世帯の活動に使えなくなり、またその逆もしかりである。男性が工業的な仕

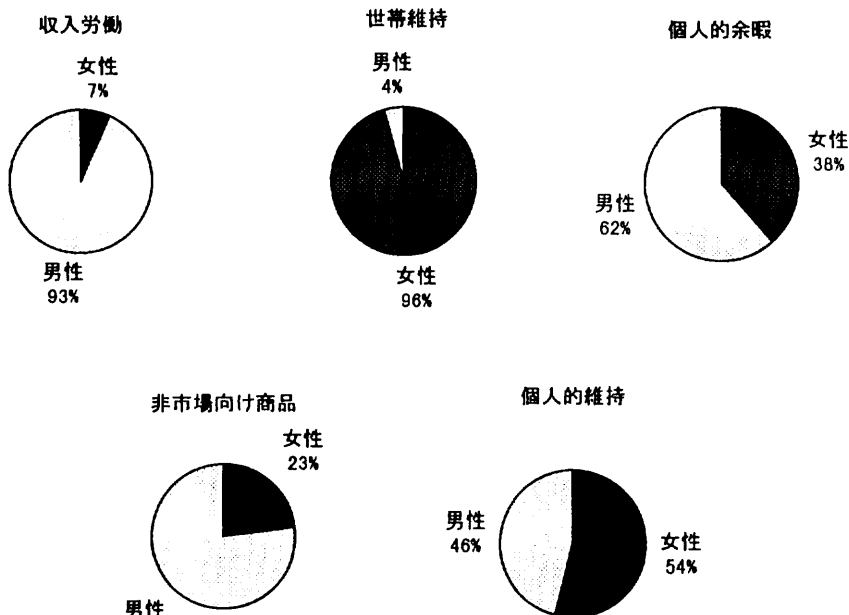
事や換金作物の栽培により多くの時間を費やすときに、女性は家族の世話だけでなく家族が食べる作物の世話のためにより多くの時間を費やさなければならない。さらに、かつて果物や野菜のような副次的な作物を商品化していた地域では、その主要な生産者である女性は、育児や他の世帯の雑用を犠牲にしてこの活動に多くの時間を投入している。余暇時間はほとんど存在しなくなっている。

構造的変化のもっとも明らかな間接的影響は識字率にある。男性の識字率は上昇しているが、女性と少女の識字率は、彼女たちが増加する女性の仕事負担を手伝うために、早い年齢で学校から連れ出されてしまうため、低下傾向にある。ネパールでは、男性の過半数である 54 % が現在識字者であるが、その一方で女性と若い少女の 75 % は非識字者のままである。さらに要点に入ると、6 歳から 9 歳の少女のほぼ半数である 43 % が学校に通っていないが、同年齢の少年のその割合は、14 % と非常によい。より包括的な生活時間データは、政府の計画者がこのバランスを回復させることを可能にするはずである。例えば、学校の時間割は様々な地理的地域の労働パターンに合うように調整されうるだろう。

同じアプローチは、生活時間データが市場やサービスへの移動性やアクセスの欠如を示しているところでは、交通を改善するために使われるかもしれない。保健上の必要も、病気で失った時間をより正確に測定することによって、よりよく評価できる。

可能性は明らかに無限である。インストローの研究は、はじまったばかりのものであり、避けては通れない試行錯誤の過程にある枠組みである。様々な生活時間調査の技術は、テストや工夫そして可能なところまでの標準化を必要とするだろう。データを測定し評価するための統計的に適切な方策を見つけるには、地方と国の状況を精巧に混合し調和させることが要求されるだろう。しかし、結局はこれまで見えなかった女性の経済的貢献は見えるようになるだろう。そしてそれは受け入れられ、評価され、国と世界の経済の中に統合されていくだろう。メキシコシティーではほぼ 20 年前に明確にされた長期の目的は、手の届くところにあるだろう。

タンザニアのSNAに関連する時間配分



出所:タンザニア統計局(1992)より

マーガレット・シールド (Margaret Shields) , 所長 (1991年7月から1994年3月) がインストローと生活時間研究の影響を考える

インストローが発展する間に作り上げられてきた大きな財産の一つは、強力な統計の計画であったし、またこの研究所の作業の一つの主流となる基盤を形成したのがこの計画であった。私たちは、女性政策のための健全な基礎を發展させる上で国を援助するために設計されたジェンダー統計についての訓練計画を続ける一方で、他の調査をさらに進めた。その主要な計画は、無償労働を測定し評価するための統一された方法論を開発しテストすることであった。これは、長年にわたって要求されてきた計画である。これは他の多くの機関との協力で遂行されてきており、これが完成したとき、どの政府にも関わる多くの開発問題に新しい光を投げかけるであろう。より重要なことは、これが女性がする仕事に対する具体的な証拠や、家族および国民経済に対する女性の貢献の評価を提供することであろう。つまり、これは女性の生活の現実を考慮に入れたしっかりした計画化のための測りしれない貴重な道具を提供するはずである。

4 プロジェクトの最近一統計

インストロー・ニュース 23

時間利用のフォローアップ

無酬労働の価値評価に関するインストローの追跡研究が、ネパール、カナダ、フィンランドで順調に進行中である。この研究は提案された時間利用の方法論と評価技法の実際的適用をテストするためのもので、結果の予備的分析が年の終わりにできるものとされている。さらに、インストローの報告に含まれている5カ国研究の成功の結果として、より包括的な全国的時間利用調査が、ドミニカ共和国でおこなわれている。この新しい研究は、個別の行動の季節的変動を考慮することを意図しており、これもまた、1995年の終わりにむけて完成する予定でいる。

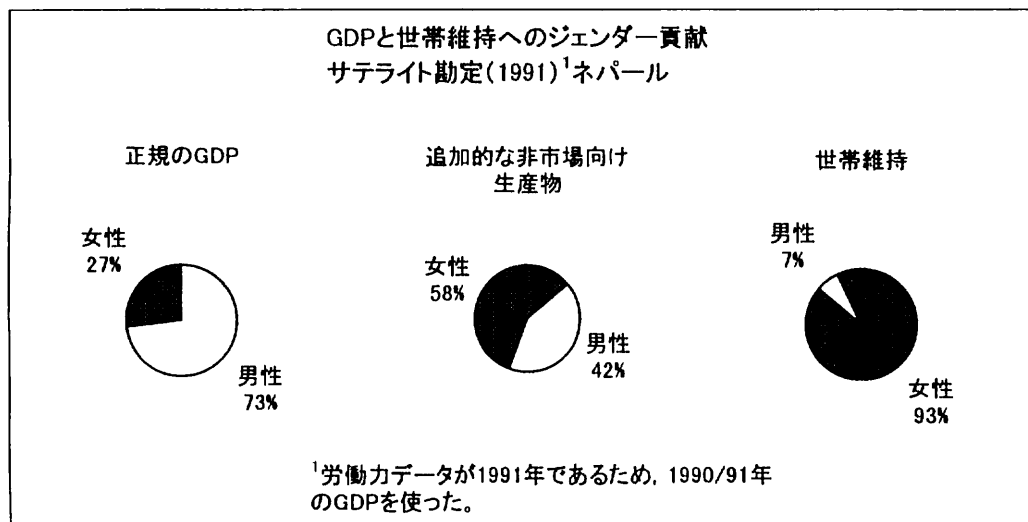
新しい訓練資料

インストローは、国連統計部および他の国連機関と協力して、利用者と生産者の間の会話をつくりだして、参加者がジェンダー問題に敏感になり、最終的には、ジェンダーに基礎をおく統計や指標を確認するのをたすけることを特に意図した資料パッケージを開発した。例えば、現実的な経済的および社会的目的を設定するためには、政策立案者は、結果に影響するあらゆる要因を性別に区分しながらふくむしっかりした統計的モデルを必要とする。例えば、人口増大率の目標は、健康指標、平均結婚年齢、避妊の使用の普及他に基づくべきである。同じように、経済成長目標は、例えば、無酬の農村の女性や、彼女たちが作り出す食品（家禽、野菜）をふくめてすべての生産者やすべての生産物をいれるべきである。

インストローは、それらの資料を一連の地域セミナーで使用した。最近では北京女性会議に向けての国別報告の作成において諸政府を援助するのにあわせられた。一連のセミナー前ワークショップの練習がすべての参加者に割り当てられて、すでに存在するデータ、データに固有のバイアス、どの補助的データが有効なのか、北京のアジェンダの主要な政策問題と統計をむすびつける方法、

についての認識を高めた。おそらくより重要なことは、練習の狙いが、統計の利用者と生産者の間にあるコミュニケーションの欠如—すなわち、利用者がそのデータを必要とするのかについて描写する方法、生産者は既存のデータのより有効な使い方の説明する方法—について理解の深まりにあることである。

地域セミナーでの経験に基づいて、インストラクターは新しい訓練パッケージを開発しつつある。これは、方法的ガイドラインのみならず、統計の利用者、政策立案者に向けての貴重な「手渡し」の試験もふくんでいる。完成直前の第一の資料は、人口に焦点をおいたものである。



5 女性の移民－影響を測定する

インストローニュース 23

より劇的な物語が見出しになる。すなわち、殺人で外国の家庭内労働者が処刑、おそらく不当に。都市の搾取的な工場で若い移民が火事で死亡。他には、あくどい募集にだまされるか強制されて売春へ。村全体が残酷な内戦で避難を余儀なくされる、などである。これまでの移民は、北アメリカの西部を横切る幌馬車のように、伝説の材料になることさえできる。しかし、ほとんどの移民個人は、わずかしか、あるいは全く注意をひきつけない。

移民は、どこであれ暮らしあるいは安全を求めて、個人あるいは集団で家を守る人々の動きとして定義される。この移民は、人類史を通じて、生活上の現実であった。その影響は大きいことがあるし、しばしば有益なこともある。貧民、失業者、解雇者にとっては新しい職を見つけ、新しい熟練を学ぶ機会になることもある。移民が送る金は、残してきた人々の福利にとって非常に重要なこともある。それはまた、地域の労働力に対して新しいエネルギーや、ときには必要な熟練を持ち込むこともある。

特に出発地に生産的労働者がいなくなるというマイナスだけでなく、否定的な影響もある。これは特に貧困な農村に損害を与える。すなわち、残された人口は、大部分が高齢者、女性、あるいはその両方になりがちであり、孤立して、生存限界を上回る生計をたてることができないことになる。到達地では、あき場所、仕事、そしてしばしば不十分な社会的サービスを求めての競争で社会的ストレスを生み出し、これが悪化すると差別や暴力をもたらす。政策立案者が移民問題を緊急性が増しつつある問題であると語らせるのは、これらの圧力によるところが大きい。

統計的ジェンダーギャップ

多数の女性が毎年移民しているにもかかわらず、今日までの論議は男性移民をめぐっているか、よくてジェンダー中立的である。新しい経済的および人口的統計が、人口の動きの大きさを明らかにするときでさえ、女性についての具

体的データはまれであるか存在しないかである。ごく稀な場合にだけ、政府の数字は女性の真の状況を反映する。例えば、多くの場合に、女性の移民は、「扶養家族」に区分される。そうでない場合においてもである。

女性の移民の基礎にある経済的・社会的現実、きまりきって無視されるか軽視される。このことは、特に自らの決断で家を出て、その状況が特に不安定になるかもしれない女性に関して言えることである。すべての移民が直面する経済的な挑戦に対応することに加えて、女性は身体的、精神的な虐待を受けやすいし、しばしば、適切な保護あるいはサービスなしに社会の暗い陰に対抗することを余儀なくされる。

女性移民の大きさ、理由や影響についての詳細な事実や数字なしに、政府職員が保護あるいは是正処置をとったり、そういった行動のための現実的な目標を設定することは不可能である。センサスや世帯調査、労働許可その他に幾つかの原統計は存在するが、それらの数字のほとんどはジェンダーを特定しておらず、あるとしても移民についての伝統的な—ときには誤った—想定を反映する傾向がある。

「女性の移民」(The Migration of Women)という最近の報告書の中で、インストローは、現行の移民統計を歪めている誤った仮定の幾つかを認定し、将来方法論的に変更すべき分野を指摘しようとした。以下の簡単な要約は、国内移民に関するデータに焦点をあてている。国内移民は国際移民の10倍と推定されている。しかし、その実質の多くと勧告の多くは、国際移民にもあてはまる。

基礎における欠点

センサスや登録リストのようなデータは、ジェンダーを特定しているときでさえ、制約を持ち、誤解を与えるものである。例えば、出生時とセンサスの間に記録された住民の変化は、いつ、そしてより重要なことであるが、何故、移民が生じたかを示さない。それは結婚から自然的災害にいたるどんな理由でもありうる。この数字は教育あるいは就業のための中間的な短期間の動きをも示さない。

さらに、大部分の表は、州あるいは県といった主要な政治的あるいは行政的境界を越える移動を計るだけである。実際にはほとんどの移民はそれらの境界

内部の、より短い距離の中で生じている。例えば、1970年のタイのセンサスは、県境を越えての人口の移動のは10%以下であり、地域の境界を越えるのはわずかに多い13%であるのに対して、地方間での数字は、34.3%に及ぶ。これらの具体的数字は、性で区分されていない。しかし、他の研究はそれらの短距離移民の過半が女性であり、統計では見えないか大きく過少推計されていることをしめしている。

もうひとつの問題は、統計家が、通常は経済的動機によると想定される農村と都市の間の移民に集中する傾向である。しかし、多くの場合に、特に開発途上国では、男性であれ女性であれ、農村と都市の間の移民は支配的なタイプではない。たとえば、エジプトでは1970年に農村と都市間の移動は、男性移民の28%、女性移民の24%にすぎなかった。インドの数字はさらに驚くべきもので、移民のうち男性の28%、女性の12%が農村から都市へのものであった。圧倒的多数は、小さな農村社会からもうひとつの農村社会へ移動した。このように、農村と都市間の移動に基礎を置いた統計は、国全体の移民の像の特徴を必ずしも反映はしない。さらに、ジェンダーによる表示は実際には像をさらに至める。すなわち、通常そうであるように、女性が非経済的な移民である被扶養者と想定されていると、女性は大きく過小計上されるからである。

組み込まれるジェンダー・バイアス

ジェンダー・バイアスは現在の人口論的方法に内在するものである。それは、原材料の統計の収集からはじまる。すなわち、調査者と回答者はともに自分のバイアスを反映しやすい。たとえば、もし開発途上国においてほとんどがそうであるように、調査員が男性なら、彼はおそらく、世帯主は男性であり、彼らが他の世帯員を正確に代表すると想定して、成人男性に面接するだろう。この想定は明らかに必ずしも事実ではない。

移民のデータを収集するときに、調査員はまた、経済的移民、あるいは「働いている」移民に焦点をあてがちであり、これによって女性を二重に過小計上するのである。調査員は女性たちのインフォーマル・セクターや無酬労働を見過ごしたり、過小計上するだけでなく、女性たちは受け身的で、男性労働者に「結びつけられた」被扶養者であると想定するだろう。再度、これもまた事実

ではない。そして女性移民の真の特徴はひどく歪められるかもしれない。

回答者も等しくバイアスを持っている的でないことがある。たとえば、男性世帯主は状況を過小報告したり代表していなかったりすることがある。たとえば、女性が家庭の外で働くことに顔をしかめる社会では、父親は娘が家まで仕事を求めていることを認めたがらないだろう。さらに、母親あるいは姉妹は、女性の家族員がどのあたりにおり、あるいは移動しているかについて父親や兄弟よりも知っている可能性が高いのだが、女性が質問されることは希である。この探索の他端には、使用主が、その家庭の使用人を住人としてリストすることを拒絶するかもしれず、彼女は統計的にとりあげられなくなる。

女性もまた面接されると、通常その家族を最大限明るく描こうとする。彼女たちは、社会的に受け入れがたく、不相当と考えられる行動はめったに報告しない。たとえば、エクアドルでの農村と都市との間の移民についての調査では、農村社会を去る移民の中に、女性は驚くべきほどわずかしかりストされていない。さらに、家族はリストされた女性のうちの 29 % しか、家を出る前に働いていなかったと報告している。家族的制約を免れた移民自身からの回答によれば、それ以前の就業率は 10 % 高かった。これがより正確な数字であることはほぼ確かだろう。

原因と影響を把握する

女性が家を出る理由を知ることは、何人が出たかを知ることと同じように重要である。たとえば、家族関係は移民になることを決定する際の常に重要な要因である。女性がその一生のどの段階—子供のとき、独身の成人のとき、妻のとき、寡婦のとき—に移動するかを知ることにもまた重要である。

他の変数は、婚姻上の地位、年令、子供の依存度の状況である。女性は、子供の世話について他人によってであれ本人によってであれ、十分に確信できるなら、より多数が移民する可能性がある。もし彼女が子供たちの唯一の扶養者なら、経済的考慮が最大のことになり、トレードオフが必要になる。すなわち、家に滞在することと、都市における不確かであるがもっと収入を得る機会を選択することのいずれによって暮らしむきがよくなるのか？ この選択は厳しいものである。たとえば、アフリカでは、女性はどこであれ正規の支払いのある

就業をうることはわずかであり、家を出ると、土地あるいは他の資産に対する既に希薄な権利を失う可能性がある。アフリカの移民の大多数は男性である。

アジアやアフリカですでに広がっている結婚のための移民は、統計的には全く見ることはできない。嫁が新しい家庭へと旅する距離は、代表的には近くの共同体に向けてであるが、現在の基準の下でとりあげるには近すぎるのである。結婚による移民の動機は経済的（ダウリーあるいは嫁の価格、あるいは単純に「良い」結婚のための機会）あるいは社会的（たとえば、女性はその共同体の外部で結婚するという伝統的要求）によることがある。結婚移民とジェンダーの平等および自律への影響についての統計調査は、今までは少なくとも大きく無視されてきた。

事実、経済的および社会的地位におけるジェンダー差は、移民における重要な要因であろう。より大きな個人的平等あるいは自律性に向けての機会を知るとは、特に単身女性にとっては、経済的改善にむけての欲求として重要である。関係する要因は異なる地域や文化によって大きく違う。たとえば、女性により自由に移動できるようにみえるラテンアメリカでは、女性はまた都市の中心でのマシスモ(machismo)の否定的影響を経験する可能性が大きい。この場合、よりよい経済的機会とより大きな個人的自律はジェンダー差別より大きいようにみえる。他方で、アンデスの土着のより貧しい女性は、より大きなジェンダー平等を持つ傾向があり、移民は以前から少ない。

最後に、移民が他の目的地ではなくある目的地を選ぶ理由は何か？ 新しい社会での家族あるいは友だちの存在か？ 教育の機会か？ よりよい環境、例えば、よりきれいな空気と水か？ これらと他のありうる要因の統計的分析は将来の政策形成にとって中核的であろう。

移民問題の他の半分は、家を去った女性とともに残った女性に対する究極の影響である。考えるべき重要な要因のいくつかとしては、女性たちが独立して移動したか？ 移民になることによって男性との対比でどんな利益を受けたか、低所得、低地位の職に限られているかどうか、時がたつにつれてよりよい経済的機会が生じているかどうか、である。また、彼女たちの家族—その移民についていった者と残された者の両方、に対する直接的な影響がある。

勸告

女性の移民についてのインストローの報告書は、移民統計における歪曲や欠陥を認定するうえで、新たな基礎を切り開いている。それはまた、青写真を用意して、方法論的変更と改善に向けた一連の勸告の中でそれらを克服しようとしている。それら示唆のうちには次のものがある。

- ・州あるいは県レベル以下のより小さな地理的領域をもふくむようにデータの収集を拡大する。性による違いとむすびついて、これは、政策立案者により完全な情報を提供し、短距離の移民、とくに女性についての過小計上の克服を助けるだろう。
- ・特別な調査を行い、男性と女性の経験を比較しながら動機と影響とを確認する。これは、移民のパターンと出生率と婚姻上の地位、および社会の全体的安定との間の関係とともに、移民の過程、移民の経済的、社会的福利に対する影響についての理解を広げるであろう。
- ・臨時的で短期の移民についてのジェンダーにそくしたデータを収集する。これは、家事サービス、教師あるいは看護の長期ではあるが通常は臨時的な仕事とともに、教育を受けるためや季節的あるいはパートタイムの就業のために移民する人々をふくむことになるだろう。
- ・「ジェンダーブラインド」な調査、とくに面接者に男性世帯主に向けてではなく、すべての家族あるいは世帯メンバーを等しく回答者としてふくむよう企画された調査、をはじめ。
- ・移民についての広い人口論的、経済的、社会環境的およびその他の規定要因についての性区分をもつデータを収集する。これらは、政府の政策による変更や改善に最もしたがやすい要因である。個人、世帯、社会レベルでの情報を結合すると、財産権、世帯の財務に対する管理の程度、その他に関する農村の慣習といった女性移民になりうる者にとって重要な他の要因をまた示すことができる。
- ・移民になった者と家に残った者についてのデータを収集するために適切な比較集団を利用する。これは、引き出された結論が妥当であることを保証するだろう。例えば、両グループの回答者は同じ年令、教育そして婚姻上の地位にあり、比較可能な社会的および家族的バックグラウンドを持つべきであ

る。

- ・現在の調査ではほとんど見過ごされてきた結婚移民はとくに重要である。例えば、何故ある女性は結婚のために移民になり、他の女性はそうではないのか、そして比較可能な地位に対する社会的、経済的、法的影響は何か？ 再度、データは適切な比較、たとえば、同じ村あるいは社会における同じ年齢の独身の少女の間での比較に基づいて収集されるべきである。
- ・同じタイプの比較集団が、経済的に成功したか失敗したかという点、また男性に比較して女性についてだけでなく、その家族や社会への影響という点からも、移民の影響を判定するために使用されるべきである。データは、移民と非移民の両方について、出発時点のそれぞれの状況とそのとき以後の経済的あるいは婚姻上の位置における変化について思い起こした情報をふくむべきである。理想的には5ないし10年以上たたない、より最近の移民であればあるほど、情報はより正確になろう。適切なところでは、第一世代の移民とその娘たちの経験とを比較することも有効であろう。

移民の動機と結果の両方を理解することが、その影響（例えば、経済的、社会的、心理的な混乱とストレス）をやわらげるために不可欠である。女性の移民を測定する点での明らかな空白の他に、不正確に集められるか、不十分に定義されたデータもまた実際の現実を歪め、隠すことさえある。

人口学者は、それらの問題についてのより大きな自覚と理解と、既に存在するデータをよりよく配布し利用することが、より効果的な経済的および社会的計画に向けての基礎を、政府に提供できると考えている。事実上、これが循環を完全にするだろう。よりすぐれた計画化が社会における女性の地位に影響し、最終的には家を出るか残るかについての意思決定に影響するだろう。

6 ジェンダー統計－女性は生産にどれだけ貢献しているか

インストロー・ニュース 24-25

主執筆者：コラゾン・ナルバエツ

無償（アンペイド）の生産を測定し価値評価するための標準的な方法やテクニックが無いにもかかわらず、最近行なわれた国別研究からひきだされた指標は本当に印象的である。それらは、経済における女性の実質的で意義のある労働や行為を確認している。最近のインストローの研究は、ネパールの経済的生産総額のうちの400万ドルは計上されず、この額のうちの84%にあたる無酬の労働時間は女性が行なっている。カナダとかフィンランドのような経済的により発展した諸国では、「見えない生産物」の60%は、女性の貢献によっている。入手できたデータに基づく推定値は、劇的な総額を示した。『1995年人間開発報告』は、「地球全体の生産物16兆ドルは見えず、そのうち11兆ドルは女性が生産している」と結論している。この統計的歪みの影響は、ジェンダーの偏りよりもはるかに大きい。それは、経済的および社会的計画の実際にはあらゆる側面についての基本的政策の意思決定の妥当性に影響を与えることがある。

ジェンダー統計と指標

計画の発展(1984～1996年)

1984年

女性についての既存のデータの改善された利用のためのガイドラインの開発、データの収集、処理および分析の現在のシステムに適用される概念や方法の改善

1985年

データの生産者と利用者のための、女性と男性についてのデータを改善する訓練プログラムの開発と実施

1986-1987年

既存データを通じるインフォーマル・セクターへの女性の参加と貢献の理解

1988-1989年

インフォーマル・セクターにおける女性についての統計データの編集と分析における方法的アプローチの企画

1990-1991年

高齢女性についての既存のデータの評価と分析

1992年

女性による有償および無酬の貢献についての測定と価値評価におけるデータの空白を無くすること

1993年

研究と政策のための女性移民についての既存データの評価と分析

1994年

政策企画、プログラムの計画、実施と監視におけるジェンダーにそくした統計と指標の実際的適用に関する新しい訓練資料と方法の開発

1995-1996年

女性と男性による、世帯生産の測定、価値評価と（サテライト勘定を通じる）経済的指標への統合の概念的、方法論的フレームワークの樹立

その範囲は、広く運輸から栄養サービスにわたる。

基本的データの包括的で正確な収集は、むしろますます緊急になり、問題がなお残る。どの方法が、経済、家族、社会に対する女性の貢献を十分に考慮に入れるために適切か？ 見えない生産を構成するものは何か？ どのようにすると一国の経済指標においてそれらを適切に価値評価し反映できるか？ 政策的意味は何か？ これらの指標は、研究および訓練の課題への挑戦になる。インストローが行なってきたことの多く、特に過去5年間のそれは、この課題の複雑さを強調している。これらの分野においてインストローが1984年以来幾つかの国際機関と協力して成し遂げた概念的および方法的前進のいくつかは、国の富に対する女性の経済的貢献についてのより包括的な理解に向けての第一歩にすぎない。これは、比較可能な地域ベースの一貫した仕方で、一国のデータ源泉からの入手可能なデータを確認し、編集し、分析することによって行なわれた。第一の目標は、市場化しうるものと市場化しないもの、有償と無酬をふくむすべての財とサービスについての統計を編集するための標準とガイドライ

ンを開発することである。中心的要請は、国際的に比較可能なタームに簡単に翻訳できる尺度を工夫することであるが、これは、おおよそのところは従来のGDPと等しいか矛盾しないが、また広く異なる各国経済や文化に適用できるよう十分にフレキシブルなものであるべきである。

『無酬の労働（アンペイドワーク）の測定と価値評価』についての研究の結果、インストローは、無酬の世帯生産についての「サテライト勘定」を設定するための概念とフレームワークを1992年に開始して、定義した。研究者、統計家および経済学者にとっての挑戦課題であるこの領域では、多くの未解決の問題が生じた。最も論議をよぶ問題は、「無酬の世帯生産に関してサテライト勘定の定義のための境界線の設定」である。それは、水汲み、たきぎの収集、二次的な食品加工といった活動はふくむべきか？ これらはすべて、改訂国民勘定体系の境界内にふくまれ、GDPの計算には反映されない。何故か？ それは、データの欠如と、それらを計算するか説明するテクニックが無いためである。他方で、この境界線は、定義と実践によってSNAから全く除外される無酬の世帯生産にだけ限定されるべきなのか？ 両方の見地が直接的に国民生産への女性の貢献が見えないことに向けられている。これらの伝統的活動が一般的には女性によって遂行されていたからである。もし生産についてのより包括的定義が適用されるなら、アプローチが最初は違っていても、両方の選択肢が計算されるべきであろう。

『無酬労働の測定と価値評価』におけるインストローの当初の勧告は、提案されているサテライトのSNAの区分にふくまれるべき活動の包括的なリストを略述している。それは、世帯維持活動：食事の用意、家の掃除、簡単な修繕サービス、買物、子供や高齢者や病人の世話、これらに関連する旅行をふくむ。個人発達活動：教育、技能開発、関連する旅行、そしてボランティアによる社会活動、である。しかし、資源と時間の制約によって、この最初の実施可能性の研究を、世帯の維持活動の測定だけに限ることになった。例えば、ボランティアの社会活動と（投資と考えられる）教育は、カナダでは、提案されたサテライト勘定の一部をなし、無酬労働の推定値の計算にふくまれていた。

さらに、インストローの研究は、他の生産あるいはサービスを「二重計算」することなしに世帯サービスの真の経済的貢献を判定するために選ばれた方法

である産出あるいは生産ベースの計算を用いた。この過程は、伝統的な生活時間研究—これは、投入を労働によって測定し、簡単にジェンダーで区分できるものである—をもって始まった。しかし、その最終生産物は、一連の異なった活動の結果である。例えば、食事は、未加工の生の食品の生産、収集あるいは購入、清掃、包丁入れ、料理、皿洗いの結果である。インストローの研究者が使った生産ベースの方法は、通用の生活時間勘定を、カナダ、フィンランド、ネパールでの小規模調査を通じて収集された家計支出や他の生産データと結びつけた2)。

この方法は適切と考えられたが、幾つかの問題が不可避免的に生じて、これは将来の研究の設計において何らかの改善を必要であることを示している。困難の多くは発生のおきからのものである。例えば、子供の世話の測定は、考慮しなければならない他の多くの社会的問題を伴う。子供が眠っているが、しかしなお子供の世話人の責任の下にあるときの時間に対して、子供の食事、入浴、子供への物語、その他の活動に積極的に向けられた時間とには、異なるウエイトがつけられるべきである。特にネパールのような開発途上国でそうなのだが、しばしば市場に同等なものがない世帯サービスについてのGDPを測定する際にも困難が生じる。世帯における食事の用意の計算もまた、世帯の外部で提供される食事の比較できる価格、とられる食事のタイプ（スナック、完全な昼食、夕食）、そして準備の時間についての補足的データを必要とする。これらの諸問題は基本的なものに見えるが、ほとんどの開発途上国においては、データを入手できないために解決がより難しいのである。

これらの問題を埋め合わせするために、インストローは、活動とこれに対応する生産物のリストを、可能なかぎり詳細に開発しようと努めた。他の活動について他の多くの同じように詳細な調整をしないで、全国ベースで比較可能な統計標準を作ることは問題でなろう。

女性の社会的、経済的貢献を統計や指標に数量化し、反映させることの意味は多面的である。それは、家族の生活、特に女性の生活の質を改善するためには、経済的（貨幣的）見地からだけでなく、全体的に効果的な仕方でも検討されるべきである。

ネパール、カナダ、フィンランドでのインストローの研究の結果は、女性の

労働の大きさの意味と比例的な価値評価を提供した。それはまた、もうひとつの開幕劇である。女性の労働の多くはいまだに、政府の統計や指標においては低く価値評価され目に見えないままである。ネパールでは、無酬の世帯生産によって生み出された価値の計算は、正規のGDPの価値の2倍である。ネパールの正規のGDPは、農業生産、貿易・商業、サービスと建設をふくむ。

1933年の改訂SNAのマニュアルにしたがえばGDPに入る世帯生産の一部は、ネパーでは記録されないままである。それらは、燃料・かいばの収集、水汲み、家屋の修繕と建築、狩猟や食品加工などのサブシステム生産である。価値評価されると、これらの活動は、ネパールの総生産の大きな部分を示し、そこでの女性の貢献はよく見えるものになる。さらに、正規のGDPへの女性の貢献が27%しかないのに対して、サブシステム生産（すなわち、燃料・かいばの収集、水汲み、自家使用のための家屋の修繕と建築、狩猟、食品の収集と加工）の全価値の58%以上が、女性の貢献によるものである。さらに、食事の用意、家事、衣服の管理、子供や高齢者の世話に関連する生産のほとんどすべて（93%）は、女性が行なっている。これら全ての計測可能な生産物ないしは産出が拡大GDPの中で考慮されるときには、経済生産合計に対する女性の貢献は、63%に上昇する。カナダやフィンランドのような経済的により発展した国の無酬の世帯生産の大きさとタイプはネパールのそれとは違うのではあるが、両方のシナリオにおける一般的傾向は同じパターンに従っているようにみえる。無酬の生産をジェンダー区分すると、カナダとフィンランドでは有償生産のそれと正反対になる。カナダでは、男性は市場GDPの63%を計上するが、女性は無酬生産の61%を計上している。同じように、フィンランドでは男性が市場GDPの59%を計上するのに対して、女性は無酬の59%を計上する。しかし、無酬の生産額が大きいので、（有償と無酬を合わせた）総生産への女性の貢献は、正規のGDPに対する女性の貢献の推定値に比べるとかなり大きくなる。カナダとフィンランドでの正規のGDPに対する女性の貢献は、それぞれ37%と41%と報告された。しかし、これらの推定値は、無酬の生産が考慮されるとき、44%と48%に上昇した。

上のデータの意味は、政策立案と計画、そして究極には女性の社会的地位を革命化できるということである。無酬労働の価値の確認することは、経済全体

が2本足の実体—市場と世帯生産の両方からの補いあう投入によって燃料を与えられ、維持されるという事実の承認することである。男性が市場部門を支配しているのに対して、女性は世帯生産の大きな部分を維持している。これらの結果は全体として、女性は男性と（より以上ではないにしても）同じだけの労働による貢献をしており、一国の総ての生産的産出あるいは資源について同じ分け前を受ける資格があることを指摘している。資源の公平な配分とは、女性に物的資産あるいは財産で報いることを意味しないし、彼女たちの多重の負担を慰謝するために社会的利得を提供することに限られるものでもない。必要なことは、女性を、教育と訓練への平等なアクセスによって、彼女たちの技能を改善し高めることによって、彼女たちに市場部門において男性と同じように競争できるようにする信用の便宜を提供することによって、エンパワーすることである。国際基準にうたわれているように家庭内労働と他の世帯責任を同等に分かち合うことを主導する政策は、経済的、社会的価値が女性の世帯活動にあてられるなら、実践に移すことができよう。

インストローは、ジェンダー平等をなしとげることに向かうメカニズムとして、社会に対する女性の有償と無酬の貢献を完全に認めるための受け入れ可能な方法やガイドラインを見いだすという責任を守りつづける。先に述べたように、インストローの予備的作業の結果は『無酬の貢献の測定と価値評価：時間と産出を通じての計算』（Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting through Time and Output: 1995）という研究論文に公表された。この研究の続き、『世帯生産の価値評価とサテライト勘定』（Valuation of Household Production and the Satellite Accounts ISBN-92-1-127053-7, Sales No.E.96.III.C.4(INSTRAW,Sant Domingo,1996)は、インストローが以前に開発した方法と技術を経験的に適用して得られたネパール、カナダ、フィンランドについてのデータとサテライト勘定をふくんでいる。

女性と国民勘定体系(SNA) もし政策立案者が、経済を1つの目をふさいで見ること、経済の1面だけしか見ることができないとしたら、その意思決定はひどいものになるだろう。現在、彼らは市場経済を明白に（？）みている。対

照的に、その非市場経済についての見方は、既存の理論や慣習によって制約を受けたりあるいはあいまいにされている。というのは、非市場経済の一部－世帯員によって、自分か同じ世帯の他のメンバーの消費のために生産される家庭内の個人サービス（1993 SNA, 6.84, p.133）－は、このシステムの生産境界内にはふくめられてはいないからである。政策立案者がすべての生産的活動のすべてを見るためには、この活動は数量化され観察されなければならない。

・特に、女性は非SNA活動－自分のためあるいは概念上の消費と無酬の社会サービスのための財やサービスの活動－の過半を提供していると考えられている。家庭内活動だけを考えると、開発途上国の無酬労働における評価の分析は、女性の貢献が、男性のその2.5倍から14倍の幅を持つことを結論している（Golschmidt-Clemon, 1987b）。

・いくつかのケーススタディからの資料は、例えば、一般的には女性が担っている街路の食べ物生産とその販売が、開発途上諸国の都市部の貧困な部門への食べ物の非常に大きな部分をなしていることを示した。現在、食事の準備は、それが販売されない限りSNAの外におかれる。しかし、そういった生産の部分－販売された部分－がSNAにふくまれ、販売されない自家消費の部分がふくまれないとすると、生産とそこでの変化についての描写は誤解を与えることになる。同じように、女性の家事労働－高齢者や若年者の世話や、市場部門の活動に従事している世帯員の「世話(maintenance)」をふくむ－の貢献は、考慮されないままであるが、生産的労働への大きな貢献をなしている。そういった労働がないとすれば、民間部門から購入するか、あるいは公的提供によって提供される必要がある。

出所：Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting through Time and Output ISBN No.92-1-127007-3 Sales No. E.95.III.C.3(INSTRAW, Santo Domingo 1995)

注

1) 出所：Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting through Time and Output ISBN No.92-1-127007-3 Sales No. E.95.III.C.3(INSTRAW, Santo Domingo 1995)

2) これら3カ国を選択したのは、主として 1) (先進国および開発途上国か

らの) 国のレベルで集められる生活時間と他の付帯的なデータの利用可能性と質、2)これらデータの入手可能性、3)この研究を遂行しうる地域の専門家の利用可能性、に基づいてである。

III インストローのフォーカル・ポイント

インストローのフォーカル・ポイントとは、インストローの説明によれば、「諸機関との契約を維持して、援助するように指名された特定国あるいは地域の機関および／あるいは女性と開発の分野で活動的な個人である。特定の国あるいは地域の承認されたフォーカルポイントは規約した機関で、女性の地位の向上に関連する研究、訓練、情報／記録／コミュニケーション活動において、国や地域での関心を持つ機関とインストローとの協力の促進と調整にあたる」とされており、一定の要件を備え、一定のステップを経て、インストローの理事会で承認されたものである。

小冊子、INSTRAW(1996), *INSTRAW Focal Points-Links for Networking* によれば、1996年時点で41あり、地域別・機関別には次のとおりである。

	政府	NGO	大学、研究、訓練機関
アフリカ	6	1	
アジア	4	1	1
ヨーロッパ他	9	4	3
ラテンアメリカ・			
カリブ海諸国	9	2	1
合計	28	8	5

ちなみに、日本は1986年に外務省・人権・難民課がフォーカルポイントになっている。このフォーカルポイントは、各国の状況についての情報を問い合わせるべき機関として重要と考えて、ここに紹介することにした。

ARGENTINA

Dirección General de Derechos Humanos y de la Mujer
Ministerio de Relaciones Exteriores y Culto
Reconquista 1088 - Piso 10, Buenos Aires
Tel:(54-1)311 0071-Int. 272
Amb. Zelmira Regazzoli
General Director

AUSTRIA

Ministry for Women's Affairs
Federal Chancellery
Ballhausplatz 1, 1014 Vienna
Tel:0043/1/53115-2204
Fax:0043/1/53115-2869
Ms Brigitte Brenner
Adviser of Minister for Women's Affairs
on International Affairs

BAHAMAS

Bureau of Women's Affairs
Ministry of Foreign Affairs
P.O. Box N-3746
Nassau
Tel:(809) 356-0244
Fax:(809) 328-8212
Ms Cora Bain-Colebrooke
Assistant Director

BRAZIL

Conselho Nacional dos Direitos da Mulher
(CNDM)
SBS Qd. 01 Bloco "E" Ed. Brasília 5º andar,
Brasília, D.F.
Tel: (061) 217-8040
Fax:(061) 322-3067
Ms Maria Ricardina Sobrinho de Almeida, President
Coordenadora Geral do Fórum Nacional de Organismos
Governamentais de Direitos da Mulher

BULGARIA

International Organizations Department
Ministry for Foreign Affairs
2, Alexander Zhendov st., Sofia 1113
Tel:(3592)714-3475
Fax:(3592)803-831
Ms Lyudmila Bozhkova

BURKINA FASO

Centre d'études de promotion et d'informations
sur le développement social
02 BP 5218, Ouagadougou 02
Tel: (226) 30 68 48
Fax:UNDP (226)31 04 70
Ms Françoise Tapsoba

CANADA

Institute for the Study of Women
Mount St. Vincent University
166 Bedford Highway, Halifax
Halifax, Nova Scotia
Tel:(902)457-6115
Fax:(902)457-0096
Ms Rose Mary Brown, President

COSTA RICA

Centro Nacional para el Desarrollo
de la Mujer y la Familia (CMF)
Ministerio de Cultura, Juventud y Deportes
Apdo 10. 227-1000, San José
Tel:(506)53-9624
Fax:(506)53-8823
Ms Ana Isabel García, Executive Director

CUBA

Federación de Mujeres Cubanas (FMC)
Paseo No. 260 esq a 13, Vedado, La Habana
Tel:(53-7)30-1700
Fax:(53-7)3-33019
Ms Vilma Espín Guillois, President

DENMARK

K.U.L.U.-Women and Development
Landgreven 7, 3.tv.
DK-1301 Copenhagen
Tel:(45) 33 15 78 70
Fax:(45) 33 32 53 30
Ms Hanne Jepsen

DOMINICAN REPUBLIC

Dirección General de Promoción de la Mujer (DGPM)
Ave. México esq. 30 de Marzo, Edif. D, 2da planta
Oficinas Gubernamentales, Santo Domingo
Tel:(809)687-4219
Fax:(809)686-0911
Ms Gladys Gutiérrez, Executive Director

ECUADOR

Instituto Ecuatoriano de Investigaciones y
Capacitación de la Mujer (IECAIM)
Ave. 6 de Diciembre 2817 y República
Quito
Tel:(593-2)525-517
Fax:(593-2)563-232
Ms Fabiola Cuví Ortiz, Director

EGYPT

Ministry of Social Affairs & General Rapporteur
of the National Commission
Women's Affairs Department
Mugamaa Building, Tahrir Square, Cairo
Tel:UNDP (20-2)768-487
Fax:(20-2)779-1451
Ms Enayat Helmy, Director General for
Women's Affairs

FINLAND

University of Helsinki
Institute of Development Studies
Jussaarenkuja 5 N134, 00840 Helsinki
Tel:(358)0-70851
Fax:(358)0-708 4778
Ms Hilka Pietila

FRANCE

Secrétariat d'Etat Chargé des Droits
des Femmes
31, rue le Peletier, 75009 Paris
Tel:(33-1)4770 41 58
Fax:(33-1)4246 99 69
Ms Caroline Mechin

GREECE

Hellenic General Secretariat for Equality,
Ministry to the Presidency
20, Kanigos Sq., Athens 106-77
Tel:(30-1)3 30 28 93
Fax:(30-1)3 30 27 18
Ms Constantina Tzifa-Pantazi
General Secretary for Equality

INDONESIA

Kantor Menteri Negara Urusan
Peranan Wanita
Jalan Medan Merdeka Barat 15
Jakarta 10110
Tel:(62-274)3805558
Fax:(62-274)342638

ITALY

The Italian Association for Women in
Development (AIDoS)
Via dei Giubbonari, 30, Interno 6
00186 Rome
Tel:(39-6)687-3214
Fax:(39-6)687-2549
Ms Daniela Colombo, President

JAPAN

INSTRAW - Director
Human Rights and Refugee Division
Multilateral Cooperation Department,
Foreign Policy Bureau
Ministry of Foreign Affairs
100 Kasumigaseki 2-2-1, Chiyoda-ku, Tokyo
Tel:(81-3)3581-4995
Fax:(81-3)3580-9319

KOREA

Korean Women's Development Institute (KWDI)
C.P.O. Box 2267, Seoul
Tel:(82-2)356-0070
Fax:(82-2)356-1467
Ms Sei-Wha Chung, President

MEXICO

Consejo Nacional de Población (CONAPO)
Angel Urraza 1137-5 Piso
Col. Del Valle, C.P. 03100, Mexico, D.F.
Tel:(525)559-6389
Fax:(525)559-6121
Dr. José Gómez de León,
Secretary General

THE NETHERLANDS

Network of women in development agencies
in The Netherlands
Vrouwenberaad Ontwikkelingssamenwerking
P.O. Box 77, 2340 AB Oegstgeest
Tel:31-71-5159392
Fax:31-71-5175391
Ms Lillian van Wesemael-Smit,
Programme Manager

NEW ZEALAND

Ministry of Women's Affairs
P.O. Box 10-049, Wellington
Tel:64-4-471-9968
Fax:64-4-472-0961
The Hon. Jenny Shipley,
Minister of Women's Affairs

NIGERIA

National Commission for Women
Block 65, Area 2 Section I
P.M.B. 229, Garki, Abuja
Tel:(234-95)09 234 0176
Ms Victoria N. Okobi

NORWAY

The Secretariat for Women and Research
The Research Council of Norway
P.O. Box 2700, St. Hanshaugen, N-0131 Oslo
Tel: + 47 22 03 70 00
Fax: + 47 22 03 70 01
Ms Elin Svenneby, Head of Secretariat

PAKISTAN

Ministry of Women Development
Government of Pakistan
State Life Building Phase 5
Blue Area, Islamabad
Tel:(92-51)821145
Fax:(92-51)823132
Ms Salma Waheed, Secretary to the
Government of Pakistan

PANAMA

Instituto de Investigaciones y Capacitación
para la Promoción de la Mujer en Panamá
(ICAPROMUPA)
Edificio Emberá, Ave. de los Mártires,
Aptdo. Postal 6-5950, "El Dorado", Panama
Tel:(507)682-144
Ms Marcela F. de Rodríguez, Executive Director

PHILIPPINES

National Commission on the Role of
Filipino Women (NCRFW)
1145 J.P. Laurel Street, San Miguel, Manila
Tel:(63-2)741-50-93
Ms Imelda Nicolás, Executive Director

POLAND

Bureau of the Plenipotentiary for Women's
and Family Affairs
Council of Ministries
ul. Litewska 1/3, 00-513 Warsaw
Tel:(48-22)694-7597
Fax:(48-22)628-2315
Ms Jolanta Banach

PORTUGAL

Comissao para a Igualdade e para os Direitos
das Mulheres
Ava. da República, 32-1º
1093 Lisboa
Tel:(351-1)797 60 81
Fax:(351-1)793 76 91
Ms Rosiska Darcy de Oliveira, President

SPAIN

Instituto de la Mujer
Ministerio de Asuntos Sociales
Almagro 36, Madrid 28010
Tel:(34-1)410 57 02
Fax:(34-1)319 91 78
Ms M^a Concepción Dancausa Treviño
General Director

SRI LANKA

Centre for Women's Research
(CENWOR)
12 1/1, Ascot Avenue, Colombo 5
Tel:(94-1)502153
Fax:UNDP (94-1)581116
Dr. Swarna Jayaweera, Coordinator

SUDAN

Ministry for Social Planning
Dept. of Women's Affairs
P.O. Box 2663, Khartoum
Tel:(873)79008
Ms Sakina M. Elhassan,
Head Department of Women

National Population Committee (NPC)
P.O. Box 3995, Khartoum
Tel:(873)43641
Head of WID Section

SURINAME

National Centre for Women
Onafhankelijkheidsplein 7,
P.O. Box 1321, Paramaribo
Tel:(597) 79401
Fax:UNDP (597) 471 568
Ms Helen Kerk

TUNISIA

Centre de Recherches, de Documentation
et d'Information
sur la Femme (CREDIF)
Av. Roi Fahd Ibn Abdelaziz, Rue 713
El Manar II, 2092 Tunis
Tel:(216-1)885 717
Fax:(216-1)882 893
Ms Soukaina Bouraoui, President Director General

TURKEY

General Directorate on the Status and
Problems of Women (GDSPW)
Basbakanlik, Kadinin Statüsü ve Sorunlari
Genel Müdürlüğü, Mesrutiyet Cad. No. 19 06650
Bakanliklar, Ankara
Tel:(90)312 4192979
Fax:(90)312 4184917
Ms Gül Aykor, General Director

UNITED STATES OF AMERICA

U.S. Council for INSTRAW
7515 Claremont Avenue
Berkeley, CA 94705
Tel:(510)849-2223
Fax:(510)642-4607
Dr. Irene Tinker, President

URUGUAY

Facultad de Ciencias Sociales
Departamento de Sociología
Universidad de la República
José Enrique Rodó 1860
11200 Montevideo
Tel:(598-2)49-1524
Fax:(598-2)48-19-17
Ms Rosario Aguirre

VENEZUELA

Consejo Nacional de la Mujer
Presidencia de la República
Apto. Postal No.3664, Caracas
Tel:(58-2)813167
Fax:(58-2)318215
Ms María Bello de Guzmán, President

ZAMBIA

Women in Development Department
Planning and Development Cooperation,
Office of the President
P.O. Box 50268, Lusaka
Tel:(260-1)250 866
Fax:UNDP (260-1)262-261
Ms Auxilia B. Ponga, Director

ZIMBABWE

Zimbabwe Women's Resource Centre
and Network (ZWRCN)
P.O. Box 2192, Harare
Tel:(263-4)737 435
Fax:(263-4)720 331
Ms Judith Chikore, Director

IV インストローの出版物リスト

インストローの出版物は多様にわたる。前回の資料において、取り寄せた出版物リストに基づき、その他文献を参照して出版物リストを示した。

その後、新たな出版物が出されているので、これも出版物リストで埋めてみた。しかし、インストローの出版物リストは、前回と同じように A3 用紙の裏表にびっしりかかれたものであるが、現在入手できないものは省いてある。このため、出版物記号に沿って配列してみると幾つかの空白が生じる。この空白に関してインストロー本部に問い合わせしているが、返事が来ていないので、空白を残しながら以下に示すことにした。

INSTRAW/SER. A/

- SA-1 Report of the Meeting - Evaluating Bilateral and multilateral Experiences in the Development and Use of Women in Development (WID) Guidelines/Checklists: Implications for National Use in Formulating Agricultural Projects for Women, held in Helsinki, October 1985. FAO/INSTRAW. 57 p. Santo Domingo, 1986. (E,F,S)
- 2 Report of the Workshop Aimed at Designing a Modular Curriculum for Training Managers and Entrepreneurs in Industry held in Vienna, 3-7 October 1984. UNIDO/INSTRAW. 27 p. Santo Domingo, 1986. (E,S)
- 3 Report of the Expert Group Meeting on Women and New and Renewable Sources of Energy, held in Santo Domingo 11-15 February 1985. INSTRAW. 52 p. Santo Domingo, 1986. (F,S)
- 4 Report of the Expert Group Meeting on Measurement of Women's Income and Their Participation and Production in the Informal Sector, held in Santo Domingo, 13-17 October 1986. INSTRAW/UNSO/ECLAC. 27 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 5 Training Users and Producers in Compiling Statistics and Indicators on Women in Development - Syllabus and related materials from the subregional seminar held in Harare, 29 April to 7 May 1985. DIESA/UNSO/ECA/INSTRAW. 144 p. Santo Domingo, 1986.(E/F/S/R/A)
- 6 Report on the Training Workshop on Statistics and Indicators on Women and Development, held in Islamabad, Pakistan, 2-6 November 1986. Government of Pakistan Cabinet Secretariat Women's Division, the Federal Bureau of Statistics, the Statistics Division/INSTRAW, in collaboration with UNSO. 104 p. Santo Domingo, 1987. (E)
- 7 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Nairobi, Kenya, 9-13 November 1987. INSTRAW, 53 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 8 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Addis Ababa, Echiopia, 23-28 November 1987. INSTRAW, 89 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 9 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Kadugli, Sudan, 16-21 January 1988. INSTRAW, 56 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 10 Report on the Training Seminar on Women, Water Supply and Sanitation, held in Mogadiscio, Somalia, 13-18 February 1988. INSTRAW, 105 p. Santo Domingo, 1988. (E)
- 11 Report of the Workshop on Statistics and Indicators on the Social and Economic Situation of Women Particularly in the Informal Sector, held in Colombo, Sri Lanka, 12-16 October 1987 and organized by Centre for Women's Research (CENWOR), the Department of Census and Statistics, and INSTRAW in collaboration with ESCAP and UNSO. 166 p. Santo Domingo, 1988 (E)
- 12 Report of the Regional Training Seminar on Women's Contribution to the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade. Held in Bangkok, Thailand, 23-27 1989 and organized by INSTRAW in co-operation with the Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. 48 p. Santo Domingo, 1989 (E)
- 13 Report of the National Workshop on the Improvement and Use of Statistics and Indicators on Women in Development. Held in Beijing, China, 1-8 June 1989. Organized by the State Statistical Bureau of the People's Republic of China, All China Women's Federation and INSTRAW in collaboration with the Statistical Office of the United Nations Secretariat and the Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. 119 p. Santo Domingo, 1989. (E)

- SA-14 Report of the Sub-regional Training Workshop on Women in Development held in Santo Domingo from 28 November to 2 December 1988. 39 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 15 Report of the Seminar on Women in Development: Post Nairobi Alternative Approaches held in Santo Domingo from 11 to 14 July, 1989, organized by INSTRAW. 35 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 16 Informe: Taller Subregional de Centroamerica para Productores y Usuarios de Estadísticas e Indicadores de la Mujer y el Desarrollo. San José, Costa Rica, 5-10 diciembre 1988. INSTRAW, 152 p. Santo Domingo, 1989. (S)
- 17 Proceedings Interregional Consultative Meeting on Women in Co-operatives: Implications for Development, held in Flovidiv, Bulgaria, 20 to 24 June 1988. 374 p. Santo Domingo, 1990 (papers in the language in which presented at meeting E,F,S).
- 19 Report of the National Workshop on Women, Water Supply & Sanitation held in Lagos, Nigeria from 10-16 May 1989. Organized by INSTRAW in collaboration with Zonta International. 47 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 20 Report of the Joint Training Seminar on Women, Population and Development held in Santo Domingo, Dominican Republic, 22 to 26 May 1989. Organized by INSTRAW in collaboration with the UN Population Fund. 35 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 21 Proceedings of the International Consultative Meeting on Communications for Women in Development held in Rome, Italy, from 24 to 28 October 1988. Organized by INSTRAW with the support of the Government of Italy and the Friedrich Ebert Stiftung. 380 p. Santo Domingo, 1990. (Papers in original language presented)
- 22 Report Statistics on Women. Compilation of papers presented during the second INSTRAW/ECE Meeting on Statistics of Women, Geneva, Switzerland 13-16 November 1989. 221 p. Santo Domingo, 1990. (E,F)
- 23 Report National Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy, held in Dar-es-Salaam, Tanzania, 11 - 15 June, 1990. 46 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 25 Report National Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy. Cairo, Egypt, 24-28 June 1990. 39 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 26 Informe seminario taller Mujer desarrollo y alternativas energéticas: fuentes de energía nuevas y renovables. Held in Santo Domingo, Dominican Republic, 11-13 December 1990. 45 p. Santo Domingo 1991. (S)
- 27 Report Regional Training Workshop on "Women and Renewable Energy Sources" held in Tripoli, Libya, 1-8 December 1990. 45 p. Santo Domingo 1991. (E)
- 28 Report of the Mediterranean Training Seminar on Women and New and Renewable Sources of Energy held in Ljubljana, Yugoslavia, 18-21 September 1990. 124 p. Santo Domingo, 1991. (E)
- 29 Report on the Regional Workshop Methods of Collecting and Analyzing Statistics on Women in the Informal Sector and their Contribution to National Product, held in Siavonga, Zambia, 23-27 July 1990. Hosted by Government of Zambia, organized by INSTRAW in collaboration with the UN Statistical Office, the Economic Commission for Africa and funded by UNDP. 222 p. Santo Domingo 1991. (E)
- 30 Rapport sur le séminaire sur l'amélioration des statistiques et indicateurs pour l'évaluation de la contribution de la femme au développement national, Saly, Senegal, 25-30 junio 1989. Santo Domingo 1991. 129 p. (F)
- 31 How to Improve Banking for Rural Women: Guidelines for Action. Report from interregional seminar held in Nicosia, Cyprus, 12-30 November, 1990. Organized by the International Fund for Agricultural Development (IFAD), the Mediterranean Institute of Management (MIM) and INSTRAW. 22 P. Santo Domingo 1992. (E)
- 32 Report of a Consultative Meeting on Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Elderly Women. New York, 28-30 May 1991. Organized by INSTRAW in collaboration with the Statistical Office of the United Nations Secretariat. 13 p. Santo Domingo 1992. (E)
- 33 The Women in Development Dimension in Evaluation Methodologies. Report from the Consultative Meeting: Evaluation Methodologies for Programmes and Projects on WID, New York, 8-10, 1989. 117 p. Santo Domingo 1992. (E)
- 34 Rapport Séminaire national de formation à l'utilisation des statistiques sur la place et le rôle des femmes dans le secteur informel. Brazzaville, Congo, 19-24 August 1991. 101 p. Santo Domingo 1992. (F)
- 35 Rapport Atelier régional La collecte et l'analyse des Statistiques concernant l'activité des femmes dans le secteur informel et leur contribution au produit national. Ouagadougou, Burkina Faso, 8-12 October 1990. 76 p. Santo Domingo 1992 (F)

- SA-36 *Rapport Séminaire national de formation à l'utilisation des statistiques sur le rôle des femmes dans le secteur informel.* Ouagadougou, Burkina Faso, 6-10 August 1991. 121 p. Santo Domingo, 1992. (F)
- 37 *Interregional workshop on the role of women in environmentally sound and sustainable development, Volume I: Proceedings of the Workshop.* Beijing, China, 9-15 September 1992. 428 p. Santo Domingo, 1993. (E)
- 38 *Informe Seminario-Taller Nacional Participación de la Mujer Rural en el Desarrollo,* Santiago, Dominican Republic. 8-9 December 1992. 53 p. Santo Domingo, 1993. (S)
- 39 *Report of the meeting on Macro-Economic Policy Analysis of Women's Participation in the Informal Sector,* Rome, 18-22 March 1991. 44 p. Santo Domingo, June 1993. (E)
- 40 *Report of the National Training Workshop on the Compilation of Statistics on Women in the Informal Sector in The Gambia.* Kombo Beach, 8-16 May 1991. 160 p. Santo Domingo, March 1994. (E)
- 41 *Women, Water Supply and Sanitation, Training Seminar,* Georgetown, Guyana, 31 January-4 February 1994. 85 p. Santo Domingo, December 1994. (E)
- 42 *Women, Water Supply and Sanitation, National Training Seminar,* Windhoek, Namibia, 20-25 November, 1994. 59 p. N.Y., March 1995. (E)
- 43 *Training Users and Producers in Statistics on Gender Issues in the South Pacific, Seminar,* Rarotonga, Cook Islands, 30 November-3 December, 1992. 130 p. Santo Domingo, May 1995. (E)
- 44 *Rapport sur l'atelier sous-régional sur statistiques et indicateurs concernant les femmes, Seminar,* Rabat, Maroc, 13-17 décembre 1993. INSTRAW, 270 p. Santo Domingo, October 1996. (F)

INSTRAW/SER.B/#

- SB-2 *National Mechanisms for the Advancement of Women* 79 p. New York, 1980. (F)
- 3 *Training for Women: An inventory of United Nations sponsored Activities* 125 p. New York, 1980. (F)
- 7 *Improving Statistics and Indicators on the Situation of Women.* UNSO/INSTRAW 8 p. Santo Domingo, 1984. (E)

- 19 **The Importance of Research and Training to the Integration of Women in Development.** Prepared by Wafaa Marei at the request of INSTRAW. 32 p. Santo Domingo, 1985. (E) Research Study No. 2.
- 20 **Las Mujeres y la Cooperación Internacional para el Desarrollo: Comercio e Inversión.** Study prepared by the North-South Institute at the request of INSTRAW. 72 p. Santo Domingo, 1985. (S)
- 21 **Towards Strategies for Strengthening the Position of Women in Food Production: An Overview and Proposals on Africa.** Study prepared by Achola Pala Okeyo at the request of INSTRAW. 36 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- 22 **Women in Economic Activity: A Global Statistical Survey (1950-2000)** ILO/INSTRAW. 170 p. Santo Domingo, 1985. (E)

- 19 **The Importance of Research and Training to the Integration of Women in Development.** Prepared by Wafaa Marei at the request of INSTRAW. 32 p. Santo Domingo, 1985. (E) Research Study No. 2.
- 20 **Las Mujeres y la Cooperación Internacional para el Desarrollo: Comercio e Inversión.** Study prepared by the North-South Institute at the request of INSTRAW. 72 p. Santo Domingo, 1985. (S)
- 21 **Towards Strategies for Strengthening the Position of Women in Food Production: An Overview and Proposals on Africa.** Study prepared by Achola Pala Okeyo at the request of INSTRAW. 36 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- 22 **Women in Economic Activity: A Global Statistical Survey (1950-2000) ILO/INSTRAW.** 170p. Santo Domingo, 1985.(E)

- 27 **El Impacto de la Política Económica y Financiera en la Mujer Latinoamericana.** Study prepared by Rina Berio and Iván Molina at the request of INSTRAW. 32 p. Santo Domingo, 1986. (S)
- 28 **Industrialization, Trade and Female Employment in Developing Countries: Experiences of the 1970's and After.** Study prepared by Susan P. Joeques at the request of INSTRAW. 65 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 29 **Desarrollando Curricula Sobre Mujer y Desarrollo: Notas Sobre un Programa del INSTRAW,** presentado en el Curso-Taller "Mujer, Desarrollo y Planificación en América Latina y El Caribe", 13 p. Santo Domingo, 1986 . (S)
- 30 **Women's Advances in the UN Decade: Looking Back with Hope.** Paper prepared by Dr. Krishna Ahooja-Patel, presented at Seely Hall, Smith College, Northampton, Massachusetts, October 1986. 33 p. (E)
- 31 **Women in the Informal Sector in Latin America: Methodological Aspects.** ESA/STAT/AC29/8, 73p. Santo Domingo 1986.
- 32 **Compiling Social Indicators on the Situation of Women** (Previously published by the United Nations as a Sales Publication). INSTRAW, 94 p. Santo Domingo, 1988. (S)
- 33 **Improving Concepts and Methods for Statistics and Indicators on the Situation of Women.** (Previously published by the United Nations as a Sales Publication). 70 p. INSTRAW, Santo Domingo, 1988. (S)
- 34 **Participation: Key to Human Resources Development with Women.** INSTRAW, 21 p. Santo Domingo, 1988. (E)

- SB-36 Women, Development and Demographic Trends in Central America: A General Overview, prepared by Soledad Parada at the request of INSTRAW. 38 p. Santo Domingo. 1989. (E)
- 37 Contribution a l'étude du besoin actuel de renforcement des mécanismes nationaux visant à intégrer les femmes aux projets de développement. Study conducted by the ECA, sponsored by INSTRAW. 62 p. Santo Domingo, 1989. (F)
- 38 Methods of Measuring Disparity between Men and Women-A Technical Report. 180p. INSTRAW, Santo Domingo, 1989(E)
- 39 Women's Studies and Development: Bridging the Gap. INSTRAW, 110 p. Santo Domingo, 1989. (E)
- 40 Modular Approach to Development of Managerial and Entrepreneurial Skill for Women Managers in Developing Countries prepared by the United Nations Industrial Development Organization and INSTRAW. 205 p. Santo Domingo, 1991. (E)
- 41 A Framework for Training Women Managers in Public Enterprises in Developing Countries prepared by the International Center for Public Enterprises in Developing Countries (ICPE) and INSTRAW. 160 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 42 Women's Access to Technology: Myths and Realities. INSTRAW, 31 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 43 Women and Credit. INSTRAW, 181 p. Santo Domingo, 1990. (E)
- 44 The Situation of Elderly Women, Available statistics and indicators. INSTRAW/UNSTAT. 80 p. Santo Domingo, 1993. Reprinted 1995. (E)
- 45 Gender Training Portfolio. 10 booklets plus reading materials. INSTRAW, Santo Domingo, 1993.(E) (US\$10.00)
- 46 The Migration of Women: Methodological Issues in the Measurement and Analysis of Internal and International Migration. INSTRAW 120 p. Santo Domingo, 1994.(E) ISBN No. 92-1-127005-7. Sales #E.95.III.C.1. (US\$15.75) (Second edition)
- 47 Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting through time and output - ISBN No. 92-1-127007-3. Sales No. E.95.III.C.3. (E) (US\$17.25) INSTRAW 124 p., Santo Domingo, 1995 (E)
- 49 Content Discontent: Towards a Fair Portrayal of Women in the Media-INSTRAW, 60 p. Santo Domingo, 1995 (E). ISBN-92-1-127052-9, Sales # E.96.III.C.3 (US\$7.00)
- 50 Gender Concepts in Development Planning Basic Approach, INSTRAW, 35 p., Santo Domingo, 1995 (E.P). ISBN-92-1-127050-2, Sales # E.96.III.C.1 Second Edition September 1996 (US\$5.00)
- 51 Credit for Women: Why is it so Important? - INSTRAW, 119 p. Santo Domingo, 1995. ISBN-92-1-127051-0, Sales # E.96.III.C.2 (US\$15.00) (E).
- 52 Valuation of Household Production and the Satellite Accounts, INSTRAW, 277 pages., Santo Domingo, 1996 (E) ISBN-92-1-127053-7. Sales No. E.96.III.C.4 (US\$20.00)

INSTRAW/SER. C/ ___

- SC-1 Annotated Bibliography of Papers Presented to the Interregional Seminar on "The Incorporation of Women into Development Planning". INSTRAW 28 p. Santo Domingo, 1985. (E)
- SC-2 Women and The International drinking Water Supply and Sanitation Decade: Annotated Bibliography. INSTRAW 21 p.1985. (E)
- SC-3 Women and New and Renewable Sources of Energy (1980 - 1987) - Annotated Bibliography of Sources Dealing with Women and New and Renewable Sources of Energy: U.N. Sources and Non-U.N. Sources. Santo Domingo, 1987.

INSTRAW/SER.D

- SD-1 Interregional workshop on the role of women in environmentally sound and sustainable development, Volume II: Project Profiles. Beijing, China, 9-15 September 1992. 319 p. Santo Domingo, 1993. (E)

PUBLIC INFORMATION:

- PI-01 Women and Water Supply and Sanitation 28 p. Santo Domingo, 1984. Information Booklet (E)
- 02 The Integration of Women into Development Planning 23 p. Santo Domingo, 1984. Information Booklet (E)
- 03 FACTS. Information booklet on INSTRAW. (E, F, S)
- 04 Statute of the International Research and Training Institute for the Advancement of Women (INSTRAW).
- 05 Programme Activities of INSTRAW 1984-85. (E)
- 06 Programme Activities of INSTRAW 1986-1987.
- 07 INSTRAW Links. Zero Issue. 24 p. Santo Domingo, 1986. (E)
- 08 Programme Activities of INSTRAW 1988-1989. (E, F)
- 09 Flyer According to Statistics She's Not Working. Santo Domingo, 1986. (E)
- 10 Flyer Decent Shelter is a Woman's Right Santo Domingo, 1986. (E, F, S)
- 11 Flyer Women and Water. Santo Domingo, 1987. (E, S)
- 12 Selected Guidelines and Checklists for Women in Development, Santo Domingo, 1987. (E, F, S)
- 13 Decent Shelter is a Woman's Right, Santo Domingo, 1987. (E, F, S)
- 14 Improved Stoves. Santo Domingo, 1988. (E, F, S)
- 15 Connecting Women to Water and Sanitation, Santo Domingo, 1987. (E)
- 16 INSTRAW Links, Santo Domingo, 1989. (E, S, F)
- 17 Classifying Women's Activities. Three Case Studies: Kenya, Mexico, Nepal, Santo Domingo, 1989. (E, S, F)
- 18 Women, Water Supply & Sanitation-Making the Link Stronger. 16 p. INSTRAW, Santo Domingo, 1989. (E, F, S)
- 19 Brochure - "Women New and Renewable Sources of Energy". Santo Domingo, 1990.
- 20 Women's Access to Credit in the Dominican Republic: A Case Study, Santo Domingo, 1990. (E, F, S)
- 21 Catalogue of INSTRAW's publications. Santo Domingo, 1991.
- 22 Flyer INSTRAW en América Latina y el Caribe. Santo Domingo, 1991. (S, E)
- 24 Flyer Millions of Women Support their families with Informal Sector Work like this. Santo Domingo, 1991. (E, F, S)
- 25 Brochure "What is INSTRAW" (E, S)

- PI-26 Flyer *INSTRAW's Contribution to Improving the Socio-Economic Status of Elderly Women*. Santo Domingo, 1992 (E)
- 27 Flyer *Women, Environment and Sustainable Development: Seeds for a Greener Future*. Santo Domingo, 1992 (E)
- 28 Booklet *Women, Environment and Sustainable Development*, Santo Domingo, 1992. (E,S,F)
- 29 *INSTRAW REPORT*, Santo Domingo, 1993. 14 pages (E)
- Flyer *1440 Minutes in a Day: Knowing how a woman spends each one reveals how much of her productive contribution is concealed*. Santo Domingo, 1994 (E)
- Flyer *INSTRAW and its Water Programme in Africa*, Santo Domingo, 1994. (E)
- Flyer *Women and Energy*, Santo Domingo, 1994. (E)
- Flyer *What do we know about women's migration and the plight of women migrants?*, Santo Domingo, 1994. (E)
- Brochure *Women Environmental Management and Sustainable Development*, modular training package, Turin, 1995. (E)
- Women and the UN 1945-1995 - *INSTRAW/UNIFEM* 1995. (E)
- 35 Flyer *INSTRAW Update: Measuring Unpaid Work*, Santo Domingo, 1995. (E)
- 35 Brochure *INSTRAW 1995 - Profile*, Santo Domingo, 1995. (E,C,I)
- 36 Brochure *INSTRAW Biennium 1996-1997 - Profile*, Santo Domingo, 1995. (E,I)(S forthcoming)
- 37 Brochure, *Medición de la Contribución de la Mujer al Desarrollo: Implicaciones de Políticas - República Dominicana*, *INSTRAW*, October 1996, 4 p. (S)

INSTRAW NEWS:

- IN-101 *INSTRAW News Vol. 1 No. 1 March 1984* (E,S,F)
- IN-102 *INSTRAW News Vol. 1 No. 2 July 1984* (E,S)
- IN-103 *INSTRAW News Vol.I No.3, December 1984. An official emblem for INSTRAW* (E,S)
- IN-104 *INSTRAW News Vol.II No.1-2, June 1985. Nairobi Conference* (E)
- IN-105 *INSTRAW News Vol.II No.3, December 1985. United Nations 40th Anniversary* (F,S)
- IN-106 *INSTRAW News No. 6, Spring/Summer 1986. Special Focus on Africa* (E,F)
- IN-107 *INSTRAW News No. 7, December 1986. Training Women in a Changing World* (E,S)
- IN-108 *INSTRAW News No. 8, Spring/Summer 1987. Communications for Development* (E,S)
- IN-109 *INSTRAW News No. 9, Winter 1987. Women, the forgotten producers* (S)
- IN-110 *INSTRAW News No. 10, Summer 1988. New and Renewable Sources of Energy* (E,F,S)
- IN-111 *INSTRAW News No. 11, Winter 1988. Networking* (E,F,S)
- IN-112 *INSTRAW News No. 12, Summer 1989. Informal Sector* (E,F)
- IN-113 *INSTRAW News No. 13, Winter 1989. Women, Water Supply and Sanitation* (F,S)
- IN-114 *INSTRAW News No. 14, Spring 1990. INSTRAW 10 years after* (E,F,S)
- IN-115 *INSTRAW News No. 15, Winter 1990. Women and Credit* (E,F,S)
- IN-116 *INSTRAW News No. 16, Double Issue 1991. African Women: Coping with Economic Crises* (E,S,F)
- IN-117 *INSTRAW News No. 17, Spring 1992. Women and Management* (E,S,F)
- IN-118 *INSTRAW News No. 18, Autumn 1992. The United Nations and Women* (E)
- IN-119 No. 19, Double Issue 1993. *Women and the environment* (E,S,F)
- IN-020 No. 20, First Semester 1994. *Women and the Family* (E,F,S)
- IN-021 No. 21, Second Semester 1994. *Women and Time* (E,F,S)
- IN-022 No. 22, First Semester 1995. *The Social Summit: A Gender Perspective* (S,F)
- IN-023 No. 23, Second Semester 1995. *Future Directions* (E,S,F)
- IN-24/25 - Special Issue 1996, *The Process of the Advancement of Women* (E)

SALES PUBLICATIONS:

- SP-102 Selected Indicators on the Situation of Women, 1985 (poster).
Department of International Economic and Social Affairs, Statistical
Office and Population Division, and INSTRAW. Sales No. E.85.XIII.6A.
- 103 Proceedings of the Interregional Seminar on The Incorporation of
Women into Development Planning held in Santo Domingo, 5-11 December
1983. 346 p. (E). Sales No. E.87.III.C.1
- 104 Proceedings of the Interregional Seminar on Women and the
International Drinking Water Supply and Sanitation Decade held in
Cairo, 12-16 March 1984. 306 p. (E) Sales No. E.87.III.C.2
- NOTE: Inquiries on Sales Publications should be addressed to: United
Nations, Sales Section, New York or Geneva.
- 105 Women in the World Economy Prepared by Susan P. Joekes at the
request of INSTRAW. Oxford University Press.
- NOTE: Inquiries on Women in the World Economy should be addressed
to:
- | | |
|----------|--|
| English | Oxford University Press
200 Madison Avenue
New York, N.Y. 10016 |
| Spanish | Siglo XXI Editores, Sa de Cv
Cerro del Agua 248, Delegación Coyoacán, 04310
México, D.F. |
| Japanese | Tokyo Shoseki Co. Ltd., Publishers
6-14-9 Honkomagome, Bunkyo-ku
Tokyo 113, Japan |
- 106 Poster by Dominican painter Rafael Amable.
- 107 Poster by Dominican painter Cándido Bidó.
- 108 Poster by Dominican painter Jorge Severino.
- 109 Poster by Bulgarian painter Dechko Uzunov.
- 111 Poster by Saudi Arabian painter Mounirah Mosly.
- NOTE: Inquiries on Posters should be addressed to:
INSTRAW, P.O. Box 21747, Santo Domingo, Dominican Republic
- 110 Improving Statistics and Indicators on Women using Household
Surveys. 148 p. New York, 1988. (A, E, F, S, R) Sales No.
E.88.XVII.11
- 112 Methods of Measuring Women's Participation and Production in the Informal Sector 216 p. New York, 1990. (E,S) Sales No.
E.90.XVII.16.

A-Arabic, E-English, F-French, J-Japanese, R-Russian, S-Spanish

Research

<Study>

Women in the Informal Sector of the Economy: A Bibliographical Compilation
by Soledad Parada, Santiago, Chile/Santo Domingo, INSTRAW p.67, Mimeographed, 1987 (E, S)

Impact of Monetary and Financial Policies Upon Women. by Sushila Gidwani at the request
of INSTRAW, Santo Domingo: INSTRAW, 44 p. May 1985 (E, F, S)

**Summary of INSTRAW Series of Studies on the Role of Women in International Economic
Relation.** (Summary No.1), 80 p., 1985 (E)

Women and International Development Cooperation: Trade and Investment. Study prepared
by the North-South Institute at the request of INSTRAW. Santo Domingo: INSTRAW
52 p., May 1985 (E, F, S)

Technology and Women's Status- Report for the 1985 World Conference to Review and
Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women: Equity, Development
and Peace, Nairobi, Kenya. Geneva, INSTRAW/UNCTAD, 18 p., 1985 (E)

**Women and Technology in Developing Countries: Technological Change and Women's
Capabilities and Bargaining Positions.** by Deborah Bryceson, Santo Domingo, INSTRAW
(Research Study No.1-C: Series of Studies on the Role of Women in International
Economic Relations), 44 p., 1985 (E)

Women, Technology and Sexual Devision. by Amartya K. Sen, (INSTRAW/BT/1985/CRP.4), 55 p.,
1985

**Las Mujeres de Edad Madura en America Latina (Midlife and Older Women in Latin
America).** by Soledad Parada, Santo Domingo, INSTRAW. Mimeographed., 17 p., 1988 (S)

International Development Strategies and Women's Issues(1980-1986). by Samia Qadir,
Santo Domingo, INSTRAW, Mimeographed., 94 p., 1987 (E)

**Integration of Women in Development Through Technical Co-operation Among Developing
Countries(TCDC).** United Nations, New York, INSTRAW, 32 p., 1983 (E)

- Modular Approach to Development of Managerial and Entrepreneurial Skill for Women Managers in Developing Countries* prepared by the United Nations Industrial Development Organization and INSTRAW. 205 p. Santo Domingo, 1991. [E]
- A Framework for Training Women Managers in Public Enterprises in Developing Countries* prepared by the International Center for Public Enterprises in Developing Countries (ICPE) and INSTRAW. 160 p. Santo Domingo, 1990. [E]
- Women's Access to Technology: Myths and Realities.* INSTRAW, 31 p. Santo Domingo, 1990. [E]
- Women and Credit.* INSTRAW, 181 p. Santo Domingo, 1990. [E]
- The Situation of Elderly Women, Available statistics and indicators.* INSTRAW/UNSTAT. 80 p. Santo Domingo, 1993. Reprinted 1995. [E]
- Gender Training Portfolio.* 10 booklets plus reading materials. INSTRAW, Santo Domingo, 1993. [E] [Sales publication]
- The Migration of Women: Methodological Issues in the Measurement and Analysis of Internal and International Migration.* INSTRAW 120 p. Santo Domingo, 1994. [E] ISBN No. 92-1-127005-7. Sales #E.95.III.C.1. [Sales publication - US\$15.75]
- Measurement and Valuation of Unpaid Contribution: Accounting through time and output* - ISBN No. 92-1-127007-3. Sales No. E.95.III.C.3. [E] [Sales publication - US\$17.25] INSTRAW 124 p., Santo Domingo, 1995 [E]
- Content Discontent: Towards a Fair Portrayal of Women in the Media*-INSTRAW, 60 p. Santo Domingo, 1995 [E, P] Second Edition, September 1996 [US\$7.00]
- Gender Concepts in Development Planning Basic Approach,* INSTRAW, ISBN-92-1-127050-2 sales # E.96.III.C.1. 35 p., Santo Domingo, 1995 [E]. (US\$5.00)
- Credit for Women: Why is it so Important?*-INSTRAW, ISBN-92-1-127051-0. Sales # E.96.III.C.2. 119 p. [Sales publication-US\$15.00] Santo Domingo, 1995 [E].
- Valuation of Household Production and the Satellite Accounts,* ISBN 92-1-127053-7. Sales No. E.96.III.C.4. INSTRAW, 228 pages., Santo Domingo, 1996 [E] forthcoming

<Papers>

- Economic and Social Status of Women in Asia Today.** by Krishna Ahooja-Patel, presented to the 8th International Symposium on Asian Studies, Hong Kong, 11-14 August 1986 (INSTRAW Publication 1986) (Working paper No.101), 33 p., (E)
- The Economic Contribution of Women to Food Supply in Developing Countries.** Santo Domingo, INSTRAW. (Working Paper No.100) 20 p., 1985 (E)
- Las Naciones Unidas y la Promocion de la Mujer (1945 -1985).** basic information for the seminar *Mujer, Planficacion y Desarrollo en el Area Andia*, Quito, Ecuador, 16-27 November 1987, (INSTRAW publication, 1987), 19 p. (S)

<Surveys>

- Research on Women: An Inventory of United Nations Sponsored Activities.** New York United Nations/INSTRAW, 125 p., 1980 (E. F. S)

Expert Group Meetings

Report of the Consultative Meeting on Evaluation Methodologies for Programmes and Projects on Women and Development. New York, 8-10 November 1989 (INSTRAW Publication 1989) (INSTRAW/BT/1990/CRP,1) 20 p. (E, F. S)

Report of the International Consultative Meeting on Communications for Women in Development. Rome, 24-28 October 1988, (INSTRAW publication, 1988), (INSTRAW/BT/1989/R.3) 45 p. (E)

Report of the Interregional Consultative Meeting on Women in Co-operatives: Implications for Development. Plovdiv, Bulgaria, 20-24 June 1988 (INSTRAW publication: 1988), 70 p. (E)

Proceedings of the Interregional Seminar on Women and the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade (IDWSSD). Cairo, Egypt, 12-16 March 1984, (INSTRAW publication, 1986; Sales No. E.87.III.C.2), 306 p. (E)

Proceedings of the International Seminar on the Incorporation of Women into Development Planning. Santo Domingo, 5-11 December 1983 (INSTRAW publication 1986, sales No. E.87 III.C.1) 346 p. (E)

Report of the Seminar on the Incorporation of Women into Development Planning. Santo Domingo, 5-11 December 1983 (INSTRAW publication, 1983) (INSTRAW/BT/1984/5) 22 p. (E)

Report of the Expert Group on Improving Statistics and Indicators on the Situation of Women. New York, 11-15 April 1983. United Nations Statistical Office, New York and INSTRAW, 1983 27 p. (E), (ESA/STAT/AC.17/9. INSTRAW/AC.1/9)

Training

<< Reports & Proceedings >>

Report on the National Workshop on Visibility of Women in Statistics and Indicators: Changing Perspectives. Bombay, India, 3-7 July 1989, organized by the SDNT Women's University, in collaboration with the Department of Women and Child Development, Government of India and INSTRAW. (INSTRAW publication), 1992 ? (E)

Report on the National Workshop for Users and Producers of Data and Indicators on Economic Activity of Women in the Formal and Informal Sectors. Jakarta, Indonesia, 5-9 October 1987, organized by the Office of the Ministr of State for the Role of Women, the Central Bureau of Statistics and INSTRAW, (INSTRAW Publication). 1992? (E)

A National Training Seminar Women, New and Renewable Sources of Energy. Cairo, Egypt, 24-28 June, 1990 (INSTRAW publication, 1990), 40 p. (E)

<< Modular Packages >>

INSTRAW-Foundation de L'EAU - multimedia training packages on "Women, Water Supply and Sanitation". Lomoges, France, INSTRAW-Foundation de l'eau, 1989 (80 large-sized posters). 56p. (E, F)

INSTRAW/ILO/Turin Centre Multi-Media Training Packages on "Women, Water Supply and Sanitation". INSTRAW/ILO/Turin Centre, 1986 (4 sound-slide packages, 120 transparencies 2 videos). 800 p. (E)

INSTRAW/ILO/Turin Centre Multi-Media Training Packages on "Women, New and Renewable Sources of Energy". (2 sound-slide packages, 80 transparencies). INSTRAW/ILO/Turin Centre, 1988. 600 p. (E)

<<Manuals>>

Improved Stoves: An Integral Part of Energy-Saving Strategies. INSTRAW, 1989, 176 p. (E)

Women and New and Renewable Sources of Energy. INSTRAW-ILO/Turin Centre, 1989. (Pilot Test Edition), 223 p. (E)

INSTRAW Training Manual on Women in Development. Santo Domingo, 1988 (E)

Public Information

<< Booklets >>

Statistics and Indicators and Women: INSTRAW's Activities. Santo Domingo, INSTRAW 20 p, 1986 (E)

Women and Energy in the Implementation of the Nairobi Programme of Action. Santo Domingo, (Background Paper No.12), 16 p. 1984 (E)

INSTRAW Training Activities - Policy Outline. Santo Domingo, INSTRAW (Policy Paper No.1), 20 p. 1985 (E)

Women: A Dynamic Dimension in Development. Santo Domingo, INSTRAW, (Policy Paper No.2) 20 P. 1985 (E)

<< Portable Exhibits >>

INSTRAW Portable Exhibits. Santo Domingo: INSTRAW 1990

<< Audio-Visual Materials >>

Women: A Dynamic Dimension in Development. INSTRAW 1985 12minutes 16mm film (E, S)

INSTRAW: Purposes and Policies. INSTRAW 3 minutes 16mm film 1987 (E)

UN in Action . DPI/INSTRAW 4.30 minutes VHS tape 1988 (E, S)

Fund-Raising for INSTRAW. by Tony Hoeller, 28 minutes 1986 (E)

INSTRAW/ILO Turin Centre - *Women, New and Renewable Sources of Energy*, 660 p. 120 transparencies, 2 sound-slide packages, Turin, 1990 (E)

INSTRAW/DDSMS/ILO-Turin Centre - *Women, Water Supply and Sanitation*, 500 p., 100 transparencies, 2 sound-slide packages, Turin, 1991 (E,S)

INSTRAW/ILO-Turin Centre - *Women, Environmental Management and Sustainable Development*, 550 p., 100 transparencies, 5 videos, Turin, 1995 (E)

Publications Resulting from activities Co-sponsored by INSTRAW

Making Women Matter. The Role of the United Nations. by Hilka Pietila and Jeanne Vickers, London, Zed Books Ltd.1990, 177p, (E)

Teaching Women in Development Courses. by Kathleen Staudt, Irene Tinker and Kathleen Cloud, 1990, 99 p, (E)

"Women and Development: New Challenges Towards Twenty-First Century" by Dunja Patizzi-Ferencic in *International Development and Alternative Futures: The Coming Challenges* New Delhi: Allied Publishers Limited,1990. pp.263-281 (E)

The Informal Sector: Development of Statistics and Indicators. Annex to *Women in the Informal Sector.* in *1989 World Survey on the Role of Women in Development.* New York, United Nations, 1989. 11 p. ST/CSDHA/6 (E)

Problems of Data Collection and Research on Mid-Life and Older Women. by Dunja Pastizzi-Ferencic in *Mid-life and Older Women in Latin America and the Caribbean* Washington, D.C.: Pan American Health Organization & American Association of Retired Person, pp.305-315, 1989, (E)

Report of Effective Business Management for Export Marketing. Tampere, Finland, 4-21 September 1989, organized by Programme for Development Co-operation (PDODC) in co-operation with international Trade Centre (ITC-UNCTAD/GATT) with the support of INSTRAW and International Women's Management Institute (WOMAN), financed by the Government of Finland. Copyright PRODEC, Helsinki, 1989, 64 p. Mimeographed (E)

" Women's Work in the Informal Sectors of the Economy-An Untapped Resource for Development" by Dunja Pastizzi-Ferencic in *Development and South-South Cooperation* (Centre for International Co-operation and Development, Yugoslavia) Vol.V., No.8, June 1989, pp.135-145 (E)

Women and South-South Co-operation: Bridge to the Mainstream. A Research Programme Proposal. Ljubljana, Harare, Santo Domingo, INSTRAW/RCCDC/ZIDS, 37p. 1988 (E)
INSTRAW/SER. A/35

" Women in the International Economy: Existing Research and Future Priorities" by Dunja Pastizzi-Ferencic, presented to Women and Socio-Economic Development, XIIth International Seminar organized by the Conference for the Social Activities of Yugoslav Women, Belgrade, 21-23 April, 1987 11 p. (E)

" The Concept of Self-Reliance and the Integration of Women in Development" in *World Survey on the Role of Women in Development.* United Nations, New York 1986 (ST/ESA/180)

Producer/User Seminar on Household Statistics and Indicators for Women. Lagos, Nigeria, 11-13 August, 1986, organized by the Federal Office of Statistics and the United Nations International Research and Training Institute for the Advancement of Women. Lagos, Federal Office of Statistics/INSTRAW, 1986 76 p. (E)

Report of the Regional Training Session on Development and Use of WID Guideline and Checklists at National Level. convened by the Centre on Integrated Rural Development for Asia and the Pacific (CIRDAP) and co-sponsored by FAO/INSTRAW, in Dhaka, Bangladesh CIRDAP. 145 p. 1978 (E)

Review of Occupation and Industry Classification Experience in Three Countries and Comments on the 1987 Proposed Revision on the International Standard Classification of Occupations (ISCO) from the Perspective of Women's Concerns. presented at the Fourteenth International Conference of Labour Statisticians, Geneva, Switzerland, 28 October-6 November 1986 (INSTRAW Publication, 1987), 20 p. (E)

Women and the International Drinking Water Supply and Sanitation Decade. INSTRAW/ UNICEFF paper submitted to the World Conference to Review and Appraise the Achievements of the United Nations Decade for Women, prepared in accordance with the decision of the Inter-Agency Task Force on Women and the IDWSSD. (INSTRAW publication, 1985), 59 p. (Water Report No.1) (E)

統計研究参考資料既発行分

No. 31	中国国民経済循環総合表	1989. 12
No. 32	ペレストロイカとソ連統計	1989. 12
No. 33	EC統計局型日本産業連関表 —日本産業連関表の組み替え 1960～1985年—	1990. 6
No. 34	国連事務局『性的ステレオタイプ、性的偏り および国家統計システム』	1991. 6
No. 35	外国人の地域分布	1991. 9
No. 36	ソ連産業連関表とその利用—C I Sの経済的基礎—	1992. 2
No. 37	EC統計局型アメリカ産業連関表 —US産業連関表の組み替え 1972～1982年—	1992. 2
No. 38	日系ブラジル人就業・生活実態調査	1993. 2
No. 39	「女性と統計」関連主要文献目次・序文等翻訳集	1993. 7
No. 40	インストローと女性に関する統計	1993. 9
No. 41	中国統計制度論集	1993. 12
No. 42	ジェンダー統計の現状	1994. 1
No. 43	ロシアにおける統計制度・政策の改革	1994. 3
No. 44	EU統計局型産業連関表（改訂版）	1994. 12
No. 45	国連『女性の状況に関する統計と指標のための 概念と方法の改善』	1995. 3
No. 46	フィリピンの農業統計	1995. 11
No. 47	ロシアにおける統計制度・政策の改革（II）	1996. 2
No. 48	統一価格中国日本産業連関表1985・1987・1990年	1996. 2
No. 49	国連『世界規模のジェンダー統計に関する ワークショップ—現在行なわれている作業と次のステップ』	1996. 4
No. 50	英国統計制度関係資料	1996. 12

統計研究参考資料 No. 51
インストローとジェンダー統計

1997年 6月

発行所 法政大学日本統計研究所
194-02 東京都町田市相原町 4342
Tel. 0427-83-2325
Fax. 0427-83-2332
発行人 伊藤 陽一

INSTRAW and Gender Statistics

Japan Statistics Research Institute, Hosei Univ.
4342 Aihara, Machida, Tokyo 194-02 JAPAN